

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（150）」

2. 日時：令和4年12月27日（火）13時30分～16時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、岸野主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末技術参与、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官

北海道電力株式会社：藪執行役員、松村執行役員 他7名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年12月21日に受取済み>>

・泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答

（地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子炉規制庁谷です。
0:00:03	ヒアリングを始めたいと思います。今日のヒアリングの案件としては泊発電所3号炉、基準津波に関するコメント回答ということで、地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組み合わせと、
0:00:18	いう資料として12月21日に提出いただいています。まずこの資料の説明を北海道電力からしていただいてそのあと事実確認を行いたいと思いますよろしくお願いします。
0:00:31	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくお願いいたします。
0:00:38	せんだって10月28日の審査会合でいただいたコメント。
0:00:42	踏まえまして資料作成して参りましたのでご説明させていただきます。説明は大木からで、説明時間40分程度を予定しておりますよろしくお願いいたします。
0:00:56	北海道電力の青木から説明させていただきますと資料のほうを早速めくっていただいて、2ページに目次、3ページに、今回の説明範囲についてご説明させていただきます。
0:01:08	まず、目次のところですが今回の説明にあたっては、1ポチの本日の説明概要及びコメント回答方針と、5ポチの津波の組み合わせについて説明させていただきます。
0:01:21	とこの内5.1章から5.5.2章にかけては、過去の審査会合資料をベースに作成しておりますので詳細な説明を割愛させていただきます。
0:01:32	3ページの説明範囲の方をお願いいたします。
0:01:36	こちら上段のテキストボックスの三つの矢羽根Aのところについて指摘回答として説明させていただきますと一つ目については、パラメータスタディの時間ピッチの妥当性について説明させていただきます。
0:01:49	また二つ目、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価波源の選定と最後に波源の入れ替わりの分析についてのコメント配当となります。
0:02:01	5ページの5ページから7ページにかけてが、あと時間差のパラメータスタディの時間ピッチに関する指摘回答の拠点となりますとこちらの内容については過去の審査会合で説明したものですので割愛させていただきます。
0:02:17	続いて9ページお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:21	ここでは、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価波源選定に関わる指摘事項の回答方針になっております。と同じく 10 ページについても回答方針となっております、
0:02:34	51 ページのところで 5 章における全体の 5.5 章における、
0:02:40	全体の評価フローと、検討結果の概要についてここで説明しております。とこの辺りを見比べながら説明させていただきたいと思います。ちょっとページ戻っていただいて 9 ページの方、お願いいたします。
0:02:54	まず指摘事項 31 番の指摘事項についてですが、
0:02:58	指摘としましては泊発電所の特徴を踏まえた組み合わせ評価の妥当性及び敷地に対して大きな影響を及ぼさ元の選定の妥当性を示すこととコメントをいただいております。
0:03:10	これに対して全体の大きな回答方針としましては右列の方に記載しております、
0:03:16	一つ目の丸、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価を行いまして、敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定を行うことで、この評価選定の妥当性を示すという方針としてございます。
0:03:30	また、泊発電所の波源の特徴としましては、令和 4 年の 10 月 28 日の審査会合において、以下の特徴を一部説明してございます。
0:03:40	藤地震に伴う津波については、波源位置の違いにより位相が大きく異なるというところ。
0:03:47	陸上地すべりの川下については地震以外の要因に伴う津波としては水位が大きいというところと組み合わせについては、陸上地すべりのかは知らの各ピークと、
0:03:57	地震に伴う津波の各ピークが重なって水位が大きくなるといった特徴を確認してございます。
0:04:04	当庫の特徴を踏まえまして、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価では、地震に伴う津波の波源位置の変動を考慮しまして、
0:04:14	川白の各ピークと地震に伴う津波の各ピークが重なって水位が大きくなる可能性について、追加解析によって検討するという方針になります。
0:04:25	またこの追加解析の結果最大ケースを選定することで、敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定について説明させていただきます。
0:04:34	また、下段に書いております指摘事項につきましては、全体フローのほうで説明させていただきますので、5 ページめくっていただいて、11 ページの方をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:48	こちらに 5.5 章の全体のフローの概要と、検討結果の概要について記載してございます。
0:04:56	まず左上の 5.5. 1 章の筒地震に伴う津波の最大ケースの分類につきましては、この五つの分類結果を用いて以降の評価を実施していきます。
0:05:07	続いて 5.5. 2 章、泊発電所の波源の特徴については、この波源の特徴についてまず確認しまして、
0:05:15	この特徴を踏まえて以降の方針を設定することを目的にして整理していきます。
0:05:21	続いて中央に書いております 5.5. 3 章、取水口放水高の上昇側の評価についてです。
0:05:29	こちらについては検討①から検討⑤まで複数の検討ございますが、
0:05:35	最終的に検討⑤においては現位置を変動させた追加解析を実施していきます。
0:05:41	その追加解析に向けて検討①から④にかけてと順番に着目するピーク地形モデル波源断層パラメーター、
0:05:51	等を分析していきまして、と絞り込んでいくという流れで整理しております。
0:05:57	またこちらのフローを見ていただくと途中で分岐している箇所があるかと思えます。こちらについては評価項目ごとに結果が異なってくるというところで、
0:06:07	分類分岐させたようなフローにしてございます。
0:06:11	続いて下段の 5.5. 4 章の膨張て上昇側の評価についてです。
0:06:18	こちらについては範囲が広いというところもありますのでまず水位最大地点の分析というものをやっております。
0:06:26	また詳細な評価についてはまた、
0:06:28	後程説明させていただきます。
0:06:31	と右上のところで、取水口下降側の評価に関するものです。
0:06:36	こっちは検討⑦と検討⑧の二つの検討をやっておりまして⑦では、水位時刻歴は形の分析、
0:06:44	検討 8 では組み合わせ評価に対する感度の分析をしております。
0:06:48	こちらの説明についても後程説明させていただきます。
0:06:51	これは全体の評価結果を踏まえまして、一番下段にあります最終的に、
0:06:57	5.5. 6 章の敷地に対して大きな影響を及ぼす波源を選定していくと。
0:07:02	そういったフローになってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:05	5 ページめくっていただいて 12 ページ以降お願いします。
0:07:10	と。
0:07:11	このページ以降各省における検討結果の概要について説明するページとなります。
0:07:18	まず 5.5. 1 章の最大ケースの分類につきましては、
0:07:22	組み合わせ評価における波源のパラメータによる傾向の違いを確認することを目的とし、波源の関係を明確にするため、分類を行っております。
0:07:32	その結果、中央の表で掲載してございます 5 種類の
0:07:36	分類結果になってこれ以降整理を行っております。
0:07:40	また下段の 5.5. 2 章の泊発電所の波源の特徴につきましては、さきに説明した通り、地震に伴う津波については波源位置の違いによって位相が大きく異なる。
0:07:52	陸上地すべり川下については、地震以外の要因に伴う津波としては誠意が大きい。
0:07:57	を組み合わせでは、陸上地すべり河島のピークと地震に伴う津波のピークが重なって水位が大きくなるといった特徴を確認しております。
0:08:07	続いて 13 ページをお願いいたします。
0:08:11	東郷. 5.3 章の手法遂行上昇側の評価につきましては、
0:08:16	地震に伴う津波の波源位置の変動を考慮して、陸上地すべり川白のピークと地震に伴う津波のピークが重なって水位が大きくなる可能性について追加解析を行っております。
0:08:29	こちら中央の表に書いてございます一番左側の検討⑤-A についてですが、
0:08:35	こちら区野地モデルの東移動ケース⑤というものが、緑の線で書かれておりまして、ここから筧モデルの東へ移動というモデルに波源位置を変動、変更することで、
0:08:48	波源の位置は、発電所に近づくという結果になります。
0:08:52	その結果、推移のグラフを書いておりますが、第 2 版のピークと書いてあるところについては波源位置が発電所に近づくため移送が早くなるとは形が左にシフトする。
0:09:03	というような結果が出てございます。
0:09:06	この葉系を対象に組み合わせの評価を行った結果として、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:10	一番、表の下段に書いてありますが、陸上地すべりの第一波のピークと地震に伴う津波の第2のピークは重ならないといった結果がえられております。
0:09:21	また、表中の中央の列、検討⑤-Bについてですが、こちら久野字モデル東へ10基をといるもとの波源位置に対して、区野地モデル西へ10キロメートルと、
0:09:34	西に移動させることで、波源位置が発電所から遠ざかります。
0:09:39	また、算を見ていただくと、下限値が発電所から遠ざかるため移送が遅くなつては形が右にシフトしていく様子が確認できております。
0:09:49	このケースを対象に組み合わせの評価を行った結果、
0:09:53	江藤川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第一波のピークが重なることは確認できたんですが水位が大きくなるといった結果が出てございます。
0:10:03	また表の一番右側、こちら放水高に着目したケースですが、こちらも検討⑤-bと同様の検討をしまして、
0:10:12	最終的な結果のところになりますが、こちら第一波がピークと地震と松波の第一波のピークが重なって水位が大きくなるといった異なる結果がえられております。
0:10:23	これまでの結果をまとめますと一番下段のテキストボックスにあります。
0:10:28	検討⑤のCのケースと右の表に書いておりますケースについては、
0:10:34	5.4章の組み合わせの最大ケースであります。なのでの解析結果を上回ることを確認いたしました。
0:10:44	続いて14ページをお願いいたします。
0:10:50	ここでは、防潮て上昇側に関する評価となります。
0:10:55	防潮て前面の最大ケースの7-Dのケースを対象に、最大水位分布を確認した結果、
0:11:02	取水口の付近で水位が最大になることを確認いたしました。
0:11:06	この取水口付近の水位上昇の民間Zoomについては、3号炉取水口と12号機取水口の正常シャンプンイズミで動と同様であることを確認いたしました。
0:11:17	これらを踏まえまして防潮て前面上昇側については、5.5.3章で検討した手法遂行の上昇側の評価結果で代表できると考えております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:28	この代表できるというところを踏まえまして、ピークとピークが重なって、水位が大きくなる可能性がないことを包丁で前面上昇側についても確認したと。
0:11:38	いうまとめになってございます。
0:11:41	続いて 15 ページお願いいたします。
0:11:45	安井下降側の評価になりまして、
0:11:48	まず上段の一つ目の丸のところでは形の分析を行いまして、地震伴う津波とかわしらが重なって重なっていることを確認いたしました。
0:11:59	その上で、書類堰を下回る継続時間パルスを考慮しない時間の評価では、3号炉貯留堰の天端高さを一時的に上回るかどうか、もしくは上回るは形がパルスになるかどうか。
0:12:12	によって評価結果に大きな影響を及ぼすことから、貯留堰天端付近の生変動に対する時間評価の変動量、
0:12:20	こちら以降、組み合わせ評価に対する感度と呼びますがこの感度が大きいということが確認できております。
0:12:28	一方、16 ページをお願いいたします。
0:12:33	こちらでは 5.5. 6 とこの敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定のまとめになってございます。
0:12:40	こちら表中に書いております四つの波源防災ケースとして選定していくというところになります。
0:12:46	一番、表中の一番上のものですが、このケース⑧の波源については、川白の第一波のピークと地震伴う津波の第 2 はのピークが重なって対変動量が大きくなる波源。
0:12:59	になってございましてこちらは 5.4 章の組み合わせの最大ケースから選定したものになります。
0:13:05	また地形モデルにつきましては水道車のメカニズムを踏まえた上で、最も厳しくなる地形モデルとして選定しております。
0:13:13	続いて 2 行目の放水工の上昇側につきましては検討後の C のケースを選定しております、
0:13:21	この波源は陸上地すべりの第 1 本ピックと地震伴う津波の第一波のピークが重なって対変動量が大きくなる波源になります。
0:13:29	またこちらについては今回の追加解析の結果より選定したケースになります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:34	また同じく地形モデルについては、水位上昇のメカニズムを踏まえた上で最も厳しくなる地形モデルとして選定してございます。
0:13:42	続いて上から三つ目のケース④のものです。
0:13:46	この貯留堰を下回る継続時間については、組み合わせ評価に対する感度が大きいことを踏まえまして、評価値が最大となる波源地形モデルを選定してございます。
0:13:57	こちらについては 5.4 社の最大ケースから選定しております。
0:14:01	一番下、下の表にありますパルスを考慮しない時間についても、処理できる下回る継続時間と同様の考えで選定してございます。
0:14:11	続いて 17 ページをお願いします。
0:14:15	ここでは波源の入れ替わりの分析について整理した資料となります。
0:14:20	水位上昇側については波源位置によって位相が異なるため波源の入れ替わりが発生したと考えております。
0:14:28	また、中央の表のところですが、地震に伴う津波の最大ケースと、5.4 章の組み合わせの最大ケースに関する波源の入れ替わりの分析と、
0:14:39	また中央の組み合わせの最大ケースから、右側で書いております泊の発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の最大ケース。
0:14:47	に行くにあたっての波源の入れ替わりといった、
0:14:51	この 2 種類の波源の入れ替わりについて詳細を整理しております。
0:14:55	この入れ替わりの詳細な理由については下表に示している通りとなります。
0:15:00	続いてページ大きく飛びまして、142 ページ、お願いします。
0:15:15	ここから今回追加しました 5.5. 3 章の組み合わせ、泊発電所の特徴を踏まえた組み合わせ評価について説明させていただきます。
0:15:25	この 5.5. 3 章は手法遂行の状況の評価の位置付けとなります。
0:15:31	543 ページお願いします。
0:15:36	こちらの検討方針ですがまず検討目的としましては、地震に伴う津波の波源位置の変動を考慮して、川白の各ピークと地震に伴う津波の各ピークが重なって水位が大きくなる可能性について追加解析によって検討すると。
0:15:50	いうところとなります。
0:15:52	検討内容については、検討⑤の対象ケースを選定するために、以下の項目を順番に分析選定していくというところになります。
0:16:01	当検討①では、着目する P E E K 検討②では、地形モデル、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:06	検討③では波源、検討④では断層パラメーターをそれぞれ分析選定していくという流れになります。
0:16:14	最後検討⑤において、波源位置の変動を考慮して水位が大きくなる可能性について、追加解析を行いまして検討すると。
0:16:22	いう内容となります。
0:16:24	米、また下段のところに、
0:16:27	評価の概要を書いております、赤い矢印で伸びた先の波源位置の変動考慮の矩形モデル東へ移動については波源位置が泊発電所に近づくため、
0:16:39	位相が早くなる場合を想定しております。
0:16:42	また青矢印で書いております、くの字モデル西へ移動については、下限位置が発電所から遠ざかるため、磯が遅くなった場合を想定しております。
0:16:51	また右側に、水、水時刻歴吐け書いております、
0:16:56	磯が早くなる場合には形が左にシフトします。
0:17:00	また、磯が遅くなった場合には形が右側にシフトいたします。
0:17:05	その結果陸上地すべりの各ピークと重なって水位変動量が大きくなる可能性について、追加解析より検討するという方針になります。
0:17:16	続いて 146 ページお願いします。
0:17:22	ここでは検討①の検討方針となります。
0:17:27	検討①では検討⑤の対象ケースを選定するために重なる可能性のあるピークを選定することを目的としております。
0:17:35	と検討内容としましては、地震に伴う津波と陸上地すべりかわしらと組み合わせ同一波動場の三つの発表を比較していきます。
0:17:45	また組み合わせのピーク、右図で書いております黄色のハッチングの箇所は、大南派でピークになっているかを確認します。
0:17:53	また陸上地すべり川下の大南派と地震に伴う津波の大南は重なることで、水位が大きくなってこのピークになっているかというところを確認していくという流れになります。
0:18:05	147 ページお願いします。
0:18:09	こちらでは検討結果の概要というところで比較した全部のケースの結果をまとめております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:15	対象としたケースにつきましては、この表中に記載しております通り、下限は地震に伴う津波の最大ケースであります。ケース①からケース⑳の20波源。
0:18:27	あと評価項目については3号炉取水口12号の取水口放水工の3ヶ所を対象にして、
0:18:34	20ケース×3評価地点の60ケースの葉系について整理したのになっております。
0:18:40	こちらの結果を見ますと、いずれも第1%もしくは第2は、ピークになることが確認できてございます。
0:18:48	続いて148ページ。
0:18:51	検討①のまとめとなります。
0:18:54	こちら矢印の下段のテキストボックス確認していただくと重なる可能性のあるピークとして、陸上地すべり川しらの第一波のピークと地震に伴う津波の第2版のピークの可能性と、
0:19:08	あと陸上地すべり川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第一波のピークの重なる可能性があるというところで、これに着目してコードの評価を実施していきます。
0:19:22	以降は形を並べておりますのでページ飛びまして230ページ。
0:19:27	お願いします。
0:19:33	230ページは、検討②のAの地形モデルの分析となります。こちらについては第2はピークに着目した検討となります。
0:19:43	231ページをお願いします。
0:19:48	検討②-Aについては、検討⑤の対象ケースを選定するために、前段の検討結果を踏まえて、評価値が大きくなる可能性のある地形モデルを選定することを目的としております。
0:19:59	で検討する内容としては、組み合わせにおける水位時刻歴ターゲット水位分布の分析を行っておきます。
0:20:06	また下段、左側には形のしておりますがこの一番下の組み合わせのところを確認ください。
0:20:14	この川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第2はピークが重なったケースであります。奈良のdのケースを対象に分析を行っておきます。
0:20:24	右側に四角の対象ケース載せておまして、
0:20:27	上げ側なのでを対象にしまして、四つの地形モデルの比較を行っていくということを書いております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:36	この 231 ページをお願いします。
0:20:41	こちらでは地形モデルの違いによる生時刻歴は形の比較を行っております。
0:20:47	上段のテキストボックスに結果を書いております、3号炉取水口及び12号の取水口においては、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①において、第2版のピークが大きくなるということが確認できています。
0:21:02	放水工につきましては健全地形モデル、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①②において水位が大きいたことが確認できております。
0:21:12	234 ページと 235 ページをお願いします。
0:21:18	ここでは地形モデルの違いによる敷地周辺の津波の伝播状況の比較を行っております。
0:21:25	この上段から健全地形モデル防波堤の損傷を考慮した地形モデル①②③という形で整理しております。
0:21:33	結果の方が 235 ページの下段のテキストで書いておまして、
0:21:38	結果としましては、3号炉取水口及び12号炉取水口については、2方向からの津波に対して阻害する防波堤がない、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①において水位が大きくなるということが確認できました。
0:21:52	また放水工については、健全地形モデル防波堤の損傷を考慮した地形モデル①②において水位が大きく、地形モデルによる違いによる有意な差はないと。
0:22:03	ということが確認できております。
0:22:06	236 ページ、まとめとなりまして、
0:22:10	下段のところの評価値が大きくなる可能性のある地形モデルとして、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①を選定していきます。
0:22:21	続いて 239 ページをお願いします。
0:22:27	ここでは検討③-A に関して、検討目的ですが、こちらもこれまでのように検討⑤の対象ケースを選定するために、評価値が大きくなる可能性のある波源を選定することを目的としております。
0:22:41	で検討する内容としましては、地震に伴う津波の第2版のピークが最大になる波源を選定するというところになります。
0:22:50	こちら、
0:22:52	地形モデルの防波堤村社もある1の地形モデルを対象にすべての葉系を並べたものになっておましてこの第2版のピークに着目しますと、6-D南20のケースが一番大きいということが確認できました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:07	そのためこのケースを選定していきます。
0:23:11	続いて 241 ページをお願いします。
0:23:17	こちら検討④の a の検討方針となります。
0:23:20	こちらはこれまでと同様に、前段の評価結果を踏まえて、一番大きくなる可能性のある断層パラメータを選定することを目的としております。
0:23:30	検討内容としましては、地震に伴う津波のパラスタケースを対象に、第 2 はのピークの位相が速くなる断層パラメータを確認するということとなります。
0:23:41	法定次めくっていただいて 242 ページをお願いします。
0:23:47	こちら上段から断層パターン 2 の違いによる傾向、中段がアスペリティーちいの違いによる傾向。
0:23:55	243 ページ。
0:23:57	の上段が下限位置、中段が断層面上縁深さの違いによる傾向をそれぞれ、
0:24:03	まとめております。
0:24:05	243 ページの下段のテキストが、
0:24:09	結論になるんですが、波源位置をくの字モデル東井戸から矩形モデルの東へ移動に変動させた場合において、下限位置が発電所に近づくため、第 2 はピークの位相が速くなることを確認しております。
0:24:26	244 まとめになりまして、波源位置が一番影響の大きくなるパラメーターとして選定しております。
0:24:35	続いて 247 ページをお願いします。
0:24:42	検討⑤のの検討方針になりまして、ここでは現位置の変動を考慮して水位が大きくなる可能性について検討することを目的としております。
0:24:52	検討内容としては、これまでの結果を踏まえて選定した 6-D 南 20 ケース⑤の波源位置を、矩形モデル東へ移動に変更した場合の追加解析を実施します。
0:25:04	この追加解析ケースを対象に組み合わせの追加解析も実施いたします。
0:25:11	248 ページをお願いします。
0:25:15	どちらかは現位置を筧モデル東へ移動に変更した追加解析を実施してそのは形を、
0:25:22	土肥、まとめております。
0:25:24	ここの結果は県見ていただくとわかるんですが波源位置を矩形モデル東へ移動に変更することで、磯が早くなることを確認いたしました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:33	続いて 249 ページをお願いします。
0:25:39	この波源位置を矩形モデル東移動に変更したケース、検討後の A のケースを対象に組み合わせの追加解析を実施しまして、5.4 の組み合わせの最大ケースと比較を行いました。
0:25:53	その結果、
0:25:54	5.4 の最大ケースになります、7-D の組み合わせ金の解析結果を上回らないことを確認しました。
0:26:02	ここの理由については、7-D 以外では、川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第 2 版ピークは重ならないためと考えております。
0:26:12	次の 250 ページから 252 ページにかけては、最大ケースは計 253 ページはまとめを掲載しております。
0:26:23	254 ページをお願いします。
0:26:27	これ一方検討②の B-C 以降の整理については、これまで説明した検討⑤の a と考え方は同様なので、説明については割愛させていただきます。
0:26:40	5 ページ飛びまして 294 ページ。
0:26:44	お願いします。
0:26:53	294 ページの検討⑤の C について説明させていただきます。
0:26:59	こちらについては、かわしらの第一波のピークと地震に伴う津波の第一波のピークに着目した検討になりまして、地形モデルについては健全地形モデル、
0:27:11	評価項目については放水工で波源は 6-D 南 20 のケース①を対象に、波源位置を変動させた検討をやっていきます。
0:27:21	295 ページ。
0:27:25	こちらの検討目的につきましては検討⑤の同様でして、検討内容につきましては、
0:27:32	この 6-D 南理事のケースもある市の波源位置を、想定波源域の西端パターン 2 の 1 まで 5 キロメートルピッチで移動させた追加解析を実施します。
0:27:44	この追加解析ケースのうち、陸上地すべりかは知らん第一波のピークから、組み合わせの時間範囲をずらした範囲における水位変動量が最大になるケースを対象に、組み合わせの追加解析を実施します。
0:27:58	296 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:03	こちら 6-D 南 20 のケースもある位置を西方向に移動させた解析結果から獲られた水位時刻歴は形をまとめております。
0:28:13	こちら第 1 棟のピークのところを見ていただくと、西に移動させると、どんどん移送が遅くなって右にシフトしていくことが確認できます。
0:28:22	このピンク色の破線で囲んでおります組み合わせの時間範囲に入る中で一番水位変動量が大きくなるケースというものが、徳野地モデルに 10 キロになりますのでこれを対象に組み合わせのけんかを検討していきます。
0:28:38	297 ページお願いします。
0:28:44	この 2 a 10 キロメートルに波源位置を変動させたケース検討後の C のケース。
0:28:50	その結果については、放水高のところを見ていきますと、
0:28:54	と水は 10.450 メーターになりまして、この結果はええと 5.4 社の最大ケースがあります。天野出井の 10.04 メーター。
0:29:04	を上回るというところですので、この 8K を選定していきます。
0:29:11	299 ページお願いします。
0:29:16	こちらは検討後の C のまとめになりまして、この表で書いております 10.45 メーターになるケースを、
0:29:25	泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の最大ケースとして選定することにしております。
0:29:33	300 ページが、
0:29:34	あと 5.5. 3 章のまとめになります。
0:29:39	続いて 303 ページお願いします。
0:29:45	ここから防潮て上昇側の評価に関する説明になります。
0:29:50	検討の目的については、泊発電所の波源の特徴を踏まえて、地震に伴う津波の波源位置の変動を考慮し、川白の家 P E E K と地震に伴う津波の各ピークが重なって、水位が大きくなる可能性について検討すると。
0:30:04	いう目的になります。
0:30:06	検討内容につきましては、防潮て前面上昇側については評価範囲が広い ため、まず水位の最大地点を確認するという方針にしております。
0:30:17	またこの膨張て全面上昇側の水位最大地点の水位上昇メカニズムが、
0:30:23	3 号炉取水口 12 号の取水口、放水工の水位上昇メカニズムと同様であることを確認するという内容になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:32	こちらの検討については、検討⑥の⑥のcと大きく二つに分けて検討していております。
0:30:40	検討6-aでは着目するピークが川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第2はピークに着目した整理となります。
0:30:49	こちら組み合わせの時間差によって水位の最大地点が異なりまして、最大となるケースについては、組み合わせ時間差115秒において取水口付近に、
0:30:59	名水が最大となります。
0:31:02	この取水口付近の水位上昇メカニズムというものが、3号炉取水口と12号炉取水口のメカニズムと同様であるということを確認していきます。
0:31:12	また右側の検討6のcに移りますと、こちらの着目するピークは、川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第一波のピークに着目した整理となります。
0:31:23	こちらは組み合わせの時間差によらず、水位の最大地点は防潮底の北端部で同様になります。
0:31:31	この北端部の上昇メカニズムは放水高と同様であることを確認していきます。
0:31:38	5ページ305ページお願いします。
0:31:44	検討6のですが、こちら組み合わせ時間差による水最大地点への影響を確認するため、複数の組み合わせ時間差における最大水位上昇量分布の比較を行っていきます。
0:31:58	これは右側にグラフ書いておりまして、組み合わせ時間差が100秒以下の場合は、南端分で最大100秒以上の場合は取水口付近で最大になっております。
0:32:08	こちらは306ページ。
0:32:13	それぞれの組み合わせ時間差における最大水位上昇量分布を書いております。こちらを見ていただくと、組み合わせ時間差が100秒以下の場合は、ランタン分で最大100秒以上の場合は、
0:32:26	と取水口付近で最大になるというものになります。
0:32:31	これは組み合わせ時間差によってそれぞれ最大地点が異なりましてこの理由については、地震に伴う津波の2羽目と川白一般名が重なる場所が異なるためと考えております。
0:32:44	こちらは、309ページお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:52	こちらは組み合わせ時間差が 85 秒の場合のスナップショットを書いておりました、
0:32:58	下段の方のところのスナップショットを見ていただくと、一番左側から、
0:33:03	防波堤の南側のところで、
0:33:06	衛藤川白戸地震伴う津波がまず重なります。
0:33:10	その後、川白の進行方向に伝播して行って、
0:33:14	逃亡調停の南端分のところで水位が最大になるというような特徴になります。
0:33:19	一方 311 ページお願いします。
0:33:25	こちらと同じく下段のスナップショット見ていただくと、防波堤の北防波堤の先端付近で重なるというところで先ほどの結果と比べると重なる地点が変わっております。
0:33:36	その結果、川白の伝播方向は車の進行方向に伝播して行って、取水口付近で最大になるというメカニズムになっております。
0:33:46	続いて 312 ページお願いします。
0:33:51	この膨張で南端分の水位と取水口付近の水位を比較した結果、取水口付近の結果の方が水位が大きくなります。
0:33:59	ここの取水口付近については、3 号炉取水口と 12 号炉取水口と近接しております。
0:34:05	これを踏まえて、形を比較した結果、水乗車メカニズムは同様であるということを確認いたしました。
0:34:14	続いて 315 ページお願いします。
0:34:19	ここで県それ以降検討⑥の c に関する整理になっておりました、こちらでもさっきの検討 6-a と同様な流れなので説明を割愛させていただきます。
0:34:31	322 ページをお願いします。
0:34:40	322 ページの膨張で上昇側のまとめになります。
0:34:46	まず、水最大地点を確認いたしました。
0:34:49	その水最大地点の上昇メカニズムというものが、3 号炉取水口及び 12 号の取水口もしくは放水工のメカニズムと同様であることを確認しました。
0:35:00	その結果、防潮で上昇側については、5.5. 3 条でやった手法遂行上昇側の評価で代表できると考えております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:35:09	この膨張定常上昇側についても、ハゲ泊発電所の波源の特徴を踏まえて、川白の各ピークと地震に伴う津波の各ピークが重なって水位が大きくなる可能性を検討した結果その可能性がないことを確認した後というまとめになります。
0:35:27	続いて 326 ページお願いします。
0:35:34	取水口下降側の検討方針になります。
0:35:38	こちら目的については、加古川における泊発電所の波源の特徴を確認することを目的としております。
0:35:45	と検討内容につきましては、と 3 号炉取水口の下降側処理月を下回る継続時間及びパルスを考慮しない時間について以下の分析を実施します。
0:35:55	と検討 7 においては、地震に伴う津波と買わしらの水加古川の波が重なることを確認します。
0:36:03	検討⑧では貯留堰の天端付近の水位変動に対する時間評価の変動量。
0:36:09	組み合わせ評価に対する感度を確認するという方針になります。
0:36:14	328 ページお願いします。
0:36:19	検討⑦の検討方針になりまして、こちらは地震に伴う津波と、かわしらの水加古川の波が重なることを確認することを目的としております。
0:36:30	と検討内容としましては、地震に伴う津波と陸上地すべりかは知ら組み合わせのは形の比較を行っていきます。
0:36:39	その組み合わせの 3 号炉貯留堰天端高さを下回る範囲が、地震に伴う津波の加古川となる範囲に包絡されることを確認していきます。
0:36:49	藤 329 ページは、全体の検討結果の概要になっておりまして、
0:36:56	組み合わせにおける貯留山ゴール取引天端高さを下回る範囲は地震に伴う津波の加古川になる範囲に包絡されることを確認しました。
0:37:05	また、地震に伴う津波の加古川となる範囲と、頭の加古川の波が重なることを確認しました。
0:37:12	以上より、地震に伴う津波とかはしらの水位下降側の波が重なることを確認したと言うまとめになります。
0:37:20	あと以降のスライドではは形を並べたものになっておりまして検討⑧の方で説明を移らせていただきます。
0:37:29	5 ページの方は 351 ページお願いします。
0:37:38	検討⑧の検討方針ですが、
0:37:41	書類席を下回る継続時間パルスを考慮しない時間の組み合わせ評価に対する感度を確認するという目的になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:49	検討内容については、一つ目の山根。
0:37:53	一部のケースにおいて組み合わせ時間差の変動に対して貯留堰を下回る継続時間は急増する。
0:37:59	と同様にパルスを考慮しない時間が急増するところが見られますので、これらの理由を考察する。
0:38:05	いうところになります。また三つ目の矢羽根と一部のケースにおいて、地震に伴う津波に河白尾組み合わせることで、評価値が小さくなるという結果が出ております。
0:38:17	同様にパルスを考慮しない時間についても小さくなるというケースがありますので、この理由について考察するというものになります。
0:38:26	352 ページお願いします。
0:38:30	こちら一部のケースにおいて、組み合わせ時間差の変動に対して貯留堰を下回る継続時間が急増するケースが見られております。
0:38:39	このうち急増する変動幅が最も大きいケース④を対象に、急増する組み合わせ時間差付近の清時刻歴は形を確認しました。
0:38:48	その結果が 353 ページに書いておまして、
0:38:55	こちらを見ますと 3 号炉貯留堰の天端高さを一時的に上回るか上回らないかによって評価値が急増するという結果は確認できております。
0:39:08	続いて 355 ページお願いします。
0:39:13	こちらも同様に、3 号炉貯留堰の天端高さを一時的に上回る剥げがパルスになるかならないかによって評価値が急増しているということが確認できてございます。
0:39:26	続いて 356 ページ、お願いします。
0:39:32	こちらの地震に伴う津波に小白尾組み合わせることで、評価値が小さくなる理由について分析したものです。
0:39:39	こちらも先ほど同様に組み合わせることによって、貯留堰の天端高さを一時的に上回るはけが出るかどうかによっては、
0:39:48	その要因によって評価値が小さくなっているというものになります。一方同様の整理になりまして、
0:39:55	359 ページお願いします。
0:40:00	こちら加古川のまとめになりまして、一番下側のテキストボックスに書いておりますが、
0:40:06	3 号炉猪履歴を下回る継続時間パルスを考慮しない時間では、
0:40:11	3 号炉貯留堰の天端高さを一時的に上回るかどうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:15	また、一時的に上回るは形がパルスになるかどうかの要因によって、評価結果に大きな影響を及ぼすことから、組み合わせ評価に対する感度が大きいことを確認いたしました。
0:40:29	続いて 362 ページ、お願いします。
0:40:34	こちらは 5.5 章の 5.5 章のまとめ該当するところですが、泊発電所の波源の特徴を踏まえた組み合わせ評価の最大ケースとしてこの四つの波源を選定してございます。
0:40:47	本日の説明概要についても説明しておりますので詳細は割愛しますが、追加検討の結果はこのハウスイ高野 10.45 のものを追加してございます。
0:40:59	続いて 363 ページお願いします。
0:41:04	こちら 3 号炉取水口について、あと評価値が 11.82 メーターと。
0:41:11	362 ページで示したものより大きくなってる結果がございませう。
0:41:16	この評価値としては大きくなっておりますが、3 号炉取水口の水位時刻歴アケイを比較した結果、概ねは形が同様であることを確認したことから、こちらの派遣については選定しないと。
0:41:28	いう方向で考えております。
0:41:31	説明については以上とさせていただきます。
0:41:39	はい規制庁タニです説明ありがとうございました。それでは事実確認を行いたいと思うんですけど。
0:41:47	ちょっと最初にですね、
0:41:51	今回これ資料作っていただいて、
0:41:56	結構この検討内容っていうのがいろいろ条件分けしたりだとか、
0:42:02	何かいろいろその過程、過程、その検討の過程みたいなのがあったりとかして、
0:42:09	結果としては何か複雑に見えるような、検討してるんですけども、
0:42:15	これねなんか見てて、とてもわかりにくいなって思ったんですけど、これ、
0:42:21	資料が、まず何を目的に何をやったのかっていうのがちゃんとわかりやすい資料になってないと。
0:42:29	中身が複雑なので、これ。
0:42:33	会合でですね議論
0:42:35	できないというかかみ合わないんじゃないのかなっていうのを、
0:42:39	ちょっと心配してるんですね。これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:41	時間がない中やってるのはわかってるんですけど北海道電力として、これ、これ社内ではですね、
0:42:48	これ、今の資料で十分わかりやすい資料になっているっていうふうに、
0:42:53	考えてますかちょっとその辺の考え確認させてください。
0:42:57	この資料出さなくていいですよ。
0:43:14	北海道電力の奥寺でございます。
0:43:19	わかりやすさの観点で言いますと、もちろん、
0:43:24	期限とか時間とか、
0:43:28	兼ね合いというのは、我々としての目標期限に対する目標とかってというのは一つあるのですけれども、そういったものも意識しつつ、
0:43:41	極力わかりやすくなるように、レビュー等を、
0:43:47	可能なは、可能な限りしながら資料構成に努めてきたと。
0:43:53	いうところでございます。以上です。
0:44:04	間にですこれあんまり議論するつもりはないんですけど、じゃあこの社内的にはオクデラさんが例えばレビューして、
0:44:11	確認する方々はなるほどな、この資料でよくわかるなっていうような感じの。
0:44:18	資料になってるっていうことでいいんですかね。
0:44:35	いいですちょっと事実確認しながら、どういう点が北海道電力としてまとめたものが、例えば私が事実確認する中で伝わってない点とか、
0:44:48	考えていただいて、ちょっとねやっぱり何か言葉足らずであったり教官が抜けたりしてる部分を、
0:44:58	なるべく埋めてから、ちゃんと確認したいなと思っていますので、事実確認進めますねまず、
0:45:13	まずですねこれ、何か資料の構成として、9ページ10ページっていうので、指摘事項がありますよと。それに対してこうしましたよっていうの。
0:45:24	回答方針って、いつものパターンではあるんですけども、
0:45:28	何ていうんですかね。
0:45:30	北海道電力として、この今の効果だ、課題というのがどん。今の検討結果、組み合わせ評価をしたんだけどもこういうところに課題があるんだよと。
0:45:42	だからこう分析を追加しているんだよみたいな、そういう部分ですねこう読み取れなくて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:50	何かコメントがあったからこう、こういう分析してみましたみたいな資料に見えてくるんですけども、多分その最初の部分の、こういう課題があるから、
0:46:02	検討としてはこういう検討が必要なんだと、或いはこんな検討すれば、説明では下の選定の妥当性を説明できるんだとか、そういう何か前、全体の考え方が、
0:46:16	いるでしょうと。で、特にこの10ページの、
0:46:22	何か論理構成。
0:46:25	全体の論理構成を説明することってということに対して、10ページの右側に、全体のローリ構成は以下の通りであるって標語をつけてってこの、
0:46:35	この項ではこうしていますとか、
0:46:38	そういう説明なんですけど、これ見てもですね、他の通り構成ってわからないですね、
0:46:47	これは何かやったことを、
0:46:50	ここをやりまして言ってるのが、こうなってるだけで、多分そのやっぱり課題に対してどういうこう評価をしましたっていうのを、
0:47:00	何か北海道電力としての最初の行、全体の論理構成っていうのが、説明していただきたいなというのを、まずは感じました。
0:47:11	で、なおかつ、これって、
0:47:13	結局今回の検討って、これまでの会合では、波源選定の妥当性を示しなさいっていうふうな、
0:47:23	議論だったと思うんですけども、
0:47:26	何かこう見ていくと、いや今までの波源選定の妥当性を示しているのかと思いつつ、いやそうじゃないのかなと。
0:47:37	例えば、
0:47:39	敷地に影響がありそうなのがもう、
0:47:41	波源がありそうなのでそれを探しに行きましたっていう理屈なのか。
0:47:46	或いは港は妥当性を確認している中で、やっぱり追加した、追加して波源を選定しなきゃいけないことに、
0:47:56	気が付いてそれを探しに行ったのかとか、なんかその辺のね考えがよくわからないんですよ。で、もともとこの検討っていうのは、だから、何のためにどういうふうな、
0:48:09	またおなじことばかり言ってます。私、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:12	この検討ってというのがどうどういうことをすれば、
0:48:15	下限が適切だと。
0:48:18	いう話にできるかっていうな、何か多分最初にいるんだと思うんですね。で、なおかつ、この11ページで、いろいろな場合分けしているんですけども、
0:48:29	この場合分けが何で要るのかとかいうのがですね。
0:48:33	何か資料見てても、
0:48:36	わからなくて、何か、
0:48:39	けつ結論に近づいてきて、
0:48:42	何かそこの結論のためにこう場合分けしてたのかなとかいうのは何となくはわかったりするんですけども、
0:48:51	どうして北海道電力として、
0:48:53	例えば、5.5. 3と5.5. 4分けたのかで、その中で5.5. 3の中で、
0:49:03	第1P、第一波のピークと第2P E E Kっていうのを
0:49:07	分けて検討したのかとか、そういう何かやっぱり全体のですね、
0:49:15	説明がまず欲しいなど。
0:49:18	で、これ11ページにギュッと詰めてますけれども、やっぱりこれ、
0:49:22	このフローはわかりやすいように
0:49:26	書く。
0:49:27	各校でやったこととのそれぞれの関係がわかるようにしないと、
0:49:33	んなんです。
0:49:35	小中多田。
0:49:38	ただ何か、
0:49:41	各校でやってることが
0:49:44	よくわからない配置でこう並んでるだけのように見えてですね。
0:49:49	うんわかりにくいというのがあるんですけどこの辺とどうですかねこれでは何か十分このやってることを説明できてるって思ってますか11ページとか、
0:50:09	北海道電力の青木です。ちょっと順番に回答させていただきます。
0:50:14	まず当社として、まず課題として何を考えているかというところになります。
0:50:21	そこで諏訪9ページのところの回答方針のところ、
0:50:25	前回の中間報告の段階では元の特徴について一部説明させていただきました。これを踏まえてと、課題としては、検討対象にしていた。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:37	地震に伴う津波の最大ケースだと、移送に着目して選定した波源ではないので、その観点から整理したものでないというところで、その観点から整理が必要だろうというところで今回、
0:50:50	理想としては現位置を変動させた検討をしております。まずその点について資料か資料で読み取れるように修正したいと考えております。
0:51:02	またあと、
0:51:04	波源選定の妥当性というコメントに対して、今回、どういう位置付けで検討やってるかというところになります。ちょっと今回、検討結果出てきてから、資料作ってるっていうところもありますので、
0:51:17	組み合わせ評価をやってその結果追加係数追加になる最大ケースが出てきたので、それを追加することで妥当性を示すというところになりました、
0:51:27	例えば仮に 2、
0:51:29	最大ケースでなくてなかった場合においても、一層の変動を考慮した検討をやった上で、今までやってるケースが最大になれば、その妥当性を示すと。
0:51:39	これになりますのでそのあたりちょっとわかりやすくなるように記載の適正化を図っていきたいと考えております。
0:51:48	それ等、
0:51:50	11 ページの全体のフローに関するところ。
0:51:54	になりますが、こちらの論理構成というところで、
0:51:59	今やってることは書いているけれども、
0:52:03	どうしてこういうフローになったのかわからないというところ。
0:52:07	このコメントかと思っております。
0:52:12	ちょっとここについては詳細を現在書き過ぎているところがあると思いますので、もう少し全体のフローの流れを先に整理した上で、
0:52:22	詳細なフローを書いて、わかりやすくなるように反映していきたいと考えております。以上です。井谷です。根井最後のフローのところについては、
0:52:32	何か詳細を書きすぎるとかそういうそういうことを言ってるつもりはなくて、その詳細をもっと書かなきゃいけないのかもしれないんですけども、関係が何かわからないですよね。
0:52:44	5.5. 1 をやって 5.5. 2 \$。
0:52:48	をやって、5.5. 3 に進むんでしょけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:54	それ、どういう関係なんですかっていうのが、
0:52:58	わからなかったり、
0:53:00	今後、例えば 5.5. 3 って、
0:53:03	何を、何をやるためにこの、何かこうたくさん分岐があって分析があつてとか、なってるのかもよくわからないんです。で、これ何か資料見ていくと、
0:53:15	何か検討、例えば 5.5. 3 についてはですね、検討⑤、
0:53:21	検討⑤に進むために、
0:53:24	その前の前段の整理みたいなのをやりましたみたいな、そんな書き方にはなってるんですけど。
0:53:33	検討⑤。
0:53:36	検討⑤がこれ。
0:53:38	何なのかよくわかんないんですよこう見ててここで何を示したいのかっていうのがですね。
0:53:44	ちゃんとこのそのこの項ではこういうことを目的としてこういう分析をするんだっていう何か宣言みたいなのがないとですね。
0:53:55	いや、多分伝わらないと思うんですけど、ちょっとそういうところで、すごくわかりにくいなと思いましたんで、5.5. 3 からですね。
0:54:06	5.5. 4 に矢印が引っ張ってあったりするんですけど、
0:54:14	何、
0:54:16	これ、県登録の C だけ矢印が引っ張ってあるけど県登録の A っていうのは、引っ張ってないっていうことなんですかね。
0:54:25	なんかどう、どうしてこの関係になるのかっていうのも、
0:54:28	結果こうなったっていう話なんだと思うんですけども。
0:54:34	これからこれ、
0:54:36	やりますよっていう、これからこういう検討結果を説明しますよっていう説明としてはですね、なんかすごく
0:54:46	ハテナマークがついてしまうようなことを、
0:54:49	あつて、ちょっと並べかえたりとか、あんまりこう何か 1 ページに
0:54:54	全部、
0:54:59	詰め込まなくてもいいと思うので、
0:55:03	なおかつ僕は思うんですけどこの、
0:55:05	本日の説明概要の最終目標っていうのは敷地に対して大きな検討及ぼす波源の選定、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:55:13	を説明するというか、
0:55:16	コメント回答として、どういう説明なんですかよ要するに波源波源の妥当性をし、選定の妥当性を示すみたいなのが、
0:55:25	何かゴールになるようなフローなんじゃないのかなとか思いながらこう読んではいらんですけれども、これって何か、
0:55:34	フローっていうか、
0:55:35	いや、やったことを書く、各校のを、
0:55:40	並べてるだけなのか何かうまく言えないですけど、ちょっとこれが、
0:55:44	このフローが、
0:55:46	もうどう読めばいいのかっていうのが、私は見ててよくわからないなって思いましたので、ちょっとぜひこうやってることがちゃんと伝わるようなフローにして、
0:55:56	いただけたらなと思うんですよ。考えていただけたらなと思いますけど、いいですかね。
0:56:10	北海道電力の奥寺でございます。
0:56:14	当てずっぽうでやったわけでもなく、事前の事前検討といいますか中間報告とかで予察があった上で、
0:56:24	それぞれのパラメーターとか、材料についての分析が必要ということで、それらに基づいて、波源の妥当性に向かっていこうとあと、
0:56:36	移送等が、もう要因として大きいなっていうところは、事前にわかっているところなので、そういったところの考えに基づいていろいろと順番とかを考えていったっていうところはあるんですけどもその辺がわかりづらいということで、
0:56:52	今おっしゃったような形でもう少し、
0:56:56	わかりやすい、わかりづらいということですのでわかりやすくなるように、我々の考え方等を再度整理させていただきたいと思います。以上です。
0:57:11	はい、谷ですよろしく申し上げます。
0:57:13	多分この後でもちょっといろいろ確認していくんですけどポイントあれですよね。何か、第2版のピークが重なるような特徴をちゃんととらえて、
0:57:24	リハのピークと重なるような場合は、この2羽がもっと早くならないか、第一課と重なるばかさ重なることが懸念されるような場合は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:35	第一波が遅くならないかとかそういう検討が必要なんだっていうのが頭 にあって、さらにそれを全部こう、何か分析していくわけにもいかんか ら、特徴をちゃんと整理してどういう波で検討したらいいのかっていう 代表。
0:57:50	検討する代表を何か選んだりとかしているとか、そういう多分
0:57:57	この
0:57:58	検討をいろいろ工夫されたり、こういうところに着目してやったんです よっていうのがきっとあるはずなので、何かそれがわかるように今のこ れ見ても、僕が言ったようなその代表させて
0:58:12	何か分析するんですよとかいうキーワードはないし
0:58:16	重なり方をずらして、
0:58:20	ずらしてなのかな。
0:58:22	ずらして確認していくんだよとかそういうこう言葉も多分これ見てて全 然わからないと思うんですよね。
0:58:28	これも、
0:58:29	やったこととしてフローを作るのもいいですし考えとしてのフローを 作るのもいいんですけど、とにかく何がポイントになるかっていうの がわかるようなですね、
0:58:40	整理にさせていただいてそこから議論だと思うので、お願いします。
0:58:50	続けますね。出た 12 ページなんですけれども、
0:58:54	これもですね。
0:58:56	これ何かこの五つのケースで、
0:59:00	検討しますって、宣言してるだけで、何か中身見ても、何でこれを
0:59:06	何でこれでや。
0:59:08	やる、やるのか、何でこれでやることで、その後段の検討が進んでいく のかっていう。
0:59:16	何て言うのかな考えが、
0:59:18	あるはずなんだけれども、
0:59:21	その
0:59:23	よくわからないんですね。
0:59:25	5 ケースでやりますよっても当然何か北海道電力からしたらこれまでの 会合で説明しましたとかいう話もあるのかもしれないんですけど、ちゃ んと今回の検討として、
0:59:36	この後計数でやっていきますっていうのが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:40	まず 5 ペ、5 ケースで見っていく。
0:59:43	で、
0:59:44	場合によってはケースをふやすっていう話なのか、いや後件数で検討すれば十分で何かで補うのか、要するにここの、
0:59:53	検討のスタートの項、
0:59:55	これ、これ、これが妥当なやり方なんですよってというような説明を、何か加えていただけたらなというふうに思いますけどいいですかねその辺、
1:00:10	北海道電力の青木です。そこの点についてちょっと説明がわかりづらいところもあっても恐縮なんですけど、こちらではまず分類した例というところでこの 5 ケース、
1:00:20	を挙げておまして、これ以降の評価の中ではこの 5 ケース以外のところについても分析を行っております。分類するにあたってどうして分類したかという考え方については、上段のテキストボックスにある、
1:00:35	ところになりますけど、波源の関係性を明確にするため、この分類しておいた方が、以降の整理がわかりやすくなるかと考え、この分類を行っているところになります。
1:00:46	そこら辺がちょっとわかりやすくなるように、記載をちょっと考えたいと思います以上です。
1:00:56	はいお願いしますまずそこ伝わるようにして欲しくて、
1:01:01	もうどんどん進めますね。
1:01:04	具体的に検討が始まるのが、
1:01:09	5.5. 3 という 142 と 143 って見開きで見っていくと。
1:01:19	まずねこの
1:01:22	5.5. 3、143 ページのこの
1:01:28	ん。
1:01:29	これもねわからないんです検討方針って言って、
1:01:36	んと。
1:01:39	検討目的。
1:01:44	これ全体の話で、何か検討内容でいきなり検討後の対象ケースを選定するために以下の、各項目順に分析、選定していくってこの、
1:01:54	何なんだっけ、この検討後の対象ケースって何なんだって検討効果最初に、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:02	最初、最初に何をやろうとしてるかっていうのがちゃんと出てこない と。
1:02:08	何か検討内容で、いきなり検討後の対象ケースを選定するためって言 われてもですね。
1:02:13	これはわからないんですよ。
1:02:19	何をやってるのかっていうのをちゃんと説明してもらえたらなと思いま す。
1:02:25	でも一応見ていくと、
1:02:30	一応見ていくと、
1:02:33	やってることとしてはこの 1234 っていうふうにやっていく、いるんだ なっていうのわかりますけれどもなんで、何でこういうことをやってる のかっていうのをちゃんと書いてくださいと。
1:02:42	ということですけど、いいですかね。
1:02:48	北海道電力の奥寺でございます。
1:02:50	先ほども、全体の流れを、
1:02:55	どのように考えてこうなったのかっていうところをわかりやすくする というところでしたけれども、
1:03:01	でも、それぞれの項目に対しても前たEでわかりやすくするというのも あるんですけども、そこで各省においてもですね、
1:03:12	目的とかそのあたり、前段でしゃべっていたとしてもですね、そこを読 んだときにまたそのあたりが明確になるようなところを配慮しつつ、
1:03:22	全体的に種わかりやすくという観点で再度、考えてみたいと思います。 以上です。
1:03:33	はいお願いします。
1:03:35	あとねちょっと、ちょっとさっき飛ばしてしまったと思ったんだけど も、
1:03:40	134 が事前検討こんなのやりましたよって言って、
1:03:47	事前検討 134 ページで、
1:03:52	方針を変えてて、
1:03:54	140 ページがその事前検討したまとめなんですけれども、
1:03:59	これ何かこう、
1:04:03	何重く、これもなんな。
1:04:07	これ何をしたかったのかがよくわからなくて、何か、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:11	134 ページの検討方針としては、水位時刻歴は形の分析っていうのは、この評価地点の分析、
1:04:23	項目的にしてるような書き方なんすよね以下の評価項目は、評価範囲が狭いから時刻歴は系による分析が適切だと。
1:04:33	ということでやりましたと。で、続いて、水位分布の分析っていうのは、防潮て前面は、評価範囲が広くて、水位分布による分析が適切
1:04:45	て書いてるんだけど、
1:04:48	これ0で評価項目について今から分析しますよっていう。
1:04:52	宣言をしているように見えるんですけども、何かどうやら140ページを見てみると、
1:05:02	別に評価地点ごとに何か言いたいわけじゃなくって、そういう時刻歴は形の分析からはこういうことがわかりました、分布からはこういうことがわかりましたっていうようなこう整理の方法になっている。
1:05:16	ていうことで、これなんか、法人のところ、
1:05:20	何かやりたいことを書ききれてないのかもしれないんですけども、何か多分こう、
1:05:27	僕の勘違いかもしれないですけどねこれ多分、方針と家まとめが合っていないと思いますよ。で、だからそこはちょっと適正化して欲しいんですけども。
1:05:38	もう1点は、
1:05:42	こういった分析っていうのは、今回7Dで、
1:05:49	分析しますよっていうことを宣言してるんですけども、
1:05:54	とその他の励んでやったら、結果は変わってこないんですかっていうのがちょっと。
1:06:01	どこにも書いてないので、
1:06:05	確認したいんですけども、これは7Dでやったらこうなりますよ。
1:06:10	ていう、
1:06:11	結果を他のケースでも、
1:06:14	適用できる。
1:06:16	んですかその辺の考えをちょっと教えてください。
1:06:23	わかりにくい。
1:06:24	当北海道電力の青木です。こちらの5.5.2章の位置付けというところになるんですが、こちらは令和4年の10月28の会合で説明したところのおさらいになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:37	質問のありましたこちら生のデイリーだけについての結論かという問いに対してはその通りになっております。
1:06:45	こちらの7-Dだけでいい理由としては、まず発電所の特徴を確認する上で、この波源を代表に、
1:06:53	抜き取りで確認したというような位置付けになっております。
1:06:57	あと全体の論理構成の中でも先に議論あったと思うんですが、事前検討という結果を踏まえて、衛藤泊発電所として課題になってるところが何かかっていうところが見えてきたところ、
1:07:11	になりましてその課題っていうのがさっきも説明した通り、
1:07:17	組み合わせによって一層励ん市に着目して検討しないと大きいものが出てこないというような課題が出てきたのでそれー
1:07:26	を説明するためにこの事前検討と、というような章の説明が必要というふうに考えております。
1:07:32	こちらで回答になっていますでしょうか。
1:07:36	今は井谷です。でもあれですよね140ページでそういう7Dでこうでしたからってということが前提で、何か、
1:07:46	続いていくような感じも受けるんですけど資料としては、
1:07:51	7Dでこうなってるから他の波源でもきっとこうなってるだから、
1:07:55	こういう分析をするんだみたいな感じに受けたんですけど、そうそうではないということで、
1:08:05	ちょっと後も切り換えて確認するようにしますんで、さっき青木さん言いましたけどここの分析をやったことによって、
1:08:15	何か課題というか出てきたよって言いましたけど、
1:08:21	何かそんなふうにはここの、
1:08:25	まとめは、
1:08:27	前、全然、そんなふうには
1:08:30	書いていないような気がするんですけど。
1:08:33	もしこういうことをやったから、
1:08:38	何ていう波源選定で、もっとこういう追加検討やらなきやいけなくなっただんすよってというのが、
1:08:44	あるのであればもうちょっと詳しくその行間を埋めるような記載をしていただけたらと思いますけどいいですかね。
1:08:54	北海道電力奥寺でございます。実を言いますとは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:59	どういう課題が、代表的な7Dみたいなものが、ものからわかってきたかっていうその、
1:09:08	課題といいますか着目点が見えてきたってところを明確化したいがために、我々としては、わかりよいよ前にやったことも、こういう検討があったからこういう、
1:09:21	例えば240ページの、
1:09:23	矢羽根の一つ目のですね、伴実輝率ありますけれども、
1:09:29	この箇条書きぐらいの特徴があるのではないかという着目点みたいなものが見えてきたってところの導入かなと、先ほど冒頭で全体の流れがわかるようにといったところを、
1:09:44	にも関連するのかもしれないですけども、おっしゃる通り、その辺、
1:09:49	我々がわかりよくっていうところと、
1:09:53	見ていただいた方ですね、
1:09:56	受けとめというところで、繋ぎはつながが悪いんだなっていうところを今認識しましたので、
1:10:03	ほぼ冒頭の繰り返しになりますけどもそういったところにも、何でこれを入れたのかとかここから何が見えてるのかだからこういう検討をやりましたっていう流れが、全体もそうですけども各省でも、
1:10:16	いちいち、わかりやすく繋がるようにですねちょうど配慮した。
1:10:21	我々の意図と違うことにならないような記載を再検討したいと思います。以上です。
1:10:31	井谷です。そうですね5.5.2があってこそその5.5.3で、こういう流れになったんだっていう話であつたら、やっぱりこの、
1:10:41	繋がりが、
1:10:43	読んでてよくわからなかったなということで、
1:10:47	ですので、
1:10:48	うん。
1:10:49	今あったような説明を、
1:10:52	加えてくださいだからこれ特徴整理することが、次へどう繋がっていくのかってところですかね。
1:11:01	見ている、こう分析してこういうのを見ましたとかいう部分はですね、それはとか見てわかってくるんですけど、
1:11:11	何を言いたいかの部分を、ぜひもうちょっと充実していただけたらなと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:55	タニです。あとはですね、続いて、
1:12:01	等、
1:12:04	もう順番に行きますね検討①で
1:12:08	藤。
1:12:11	ピークとの関係っていうのをご説明してるんですけど 147 ですね。
1:12:19	これ多分
1:12:25	これが後段で同意どうなっていくのかっていうのが何か、
1:12:31	よくわからなくてただ単にこれを第一波と重なる場合もあれば下、第 2 はと重なる場合があるっていうことを言いたい、或いは、かわしらは、
1:12:41	必ず第一波だけを第 1、
1:12:45	第 2 は、第 3% っていうのはあんまりこう関係なくて第一波を見とけば いいとか、そういうことを言いたい。
1:12:54	検討①っていうのは、
1:12:56	そう、そういうことなんですこれよ要するに。
1:12:59	第サンパとか地震の第三分見なくってもいい、いい或いはつんん地すべ りの、
1:13:07	第 2 は以降見なくていいとかそういうことを分析したっていうような、
1:13:12	ことなんですかね、ちょっと確認させてください。
1:13:18	北海道電力の奥寺でございます。今おっしゃったようなことではなくて ですね。
1:13:26	昨年の事前検討になるんですけども、その三つぐらいチェックあった 内野川志田の各ピークと地震の各ピークが重なると大きくなる可能性が あるんだということが、
1:13:39	予察のところで見えてきているので、だったら、一波とか、2羽とかだ けではなくて、サンパ4%ぐらいまであまねくですね、
1:13:49	チェックする必要があるだろうということで、そういう可能性のありなしっ ていうのを一つ一つ見た上で結果を出していったと、そういうような考 え方でございます。以上です。
1:14:18	はい。これってあれですよ。
1:14:22	実は、
1:14:23	このコメント回答にもなって、
1:14:28	10 ページのNo.32 の一番下、これも、
1:14:35	該当してるんってことですよ。
1:14:40	データでございます。その通りでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:14:43	何かそこをはっきり書いたらいいんじゃないんですか。かわしらは、
1:14:49	第2は移行。
1:14:51	で重なって大きくなることはないってことですよね。
1:14:57	で、
1:15:00	地震は一発に畑を見ればいい。
1:15:04	そういうことなんですかね。
1:15:13	北海道電力の青木です。
1:15:15	甲谷さんのおっしゃる通り指摘事項32番の一番下の矢羽根の下は知らについては第一波のピークのみでなくて第2は以降の後続はによって組み合わせが最大にならないかについて整理した、すること。
1:15:29	に対する回答になっておりますので、検討①のところで、これに対する回答の一部だっというところをわかるようにしたいと思っております。
1:15:39	あと、繰り返しになるんですが、ここでは、
1:15:43	第1から第4は、それぞれ、
1:15:47	川白土地震伴う津波のそれぞれの組み合わせについて確認してその結果が、
1:15:52	地震の第一波にはとかわしらの一波で組み合わせると大きくなる可能性があるってのが見えてきたので、後段で評価しているといった位置付けになります。以上です。
1:16:07	はい。
1:16:09	谷です。はい。
1:16:12	だから、だから、検討2に、検討には分けます。
1:16:19	ですね、検討②は、一般の場合と第2班の場合に分けます。
1:16:25	で、
1:16:26	事が次の日の繋がるってことでいいんですね。で、
1:16:30	あ、はい、すいません。
1:16:33	話があるんですけど、これあと149ページ以降ですね、ずっとこう、
1:16:40	100、100ページ近くなにかこう、
1:16:45	何か分析結果、
1:16:50	何ページか。
1:16:52	なんかさ、
1:16:54	岡加来。
1:16:55	は形をこうずっと並べてるんですけど、こんなのはもう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:01	資料構成としては、補足とか若生に飛ばしてもらった方が、なんかね、この間をこう見ていくと、どういう次の検討とどういう関係なのかがわかりにくくなるので、
1:17:16	そこはもう適宜、補足とかに飛ばしてもらったらいかなと個人的に思ってますので、検討いただけたらと思います。
1:17:26	北海道電力奥寺でございます。ここは私自身ですね、少し巻末に創価本体に力がわかって迷ったところなんですけれども、
1:17:39	結局 147 ページの結論を出そうというときに、
1:17:45	すぐ手元に算のあるものが紐づきあった方がいいんじゃないかと 147 ページの表の右端に説明ページと書かれてますけれども、何、この
1:17:58	概要に対してすぐ開け見れた方がいいんじゃないかと、逆にわかりづらくなってしまったのかもしれないけど、私としてはわかりやすくすぐ手元というイメージを持ってたんですけども、
1:18:10	間等と、全体の構成としてわかりづらいということの指摘に、聞こえましたので、ちょっとその辺りも、
1:18:23	どっちを優先するかっていうのがあると思いますのでお任せしますよ。はい。
1:18:27	はい。わかりましたこちらで検討させていただきたいと思います。
1:18:47	規制庁佐口ですけども、もちろん資料構成っていうのは、御社にお任せをしますけれども、
1:18:55	やっぱり手元に置いといてという話であれば、例えば当然ながら二部構成にさせていただいて、横に置いて見ながら、説明を受けるっていうのも一つの手ですし、
1:19:09	やっぱり今日、
1:19:10	ご説明をされる中で、一切使わなかったっていうのは、結局、説明にそれほど重要なものじゃなくって、
1:19:20	とにかくそれが、
1:19:22	わかればいい資料であるならば、先ほどもタニの方からも申し上げましたけど、少し補足の方の形で、横に置いてばらばらと見比べながら、
1:19:35	いろいろ説明を受けるというのも一つの手かと思いますのでそこはちょっとご検討ください。
1:19:42	北海道電力久世でございます

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:44	ここに付けているもの、今日説明なかったんですけど重要ではないとは考えて言いたいんですけども、今、説明がわかりづらいというところの趣旨が多いので、
1:19:56	分けるなり巻末にするなり、ちょっとそっちの方向検討しようかなと今、私自身考えていることですので、そういうことで引き取りたいと思います。よろしくお願いします。以上です。
1:20:10	タニですけど、あんまり巻末っていうか見比べながら交換、結果とかね、は形とか見比べながら資料読んでいくっていう部分でいうと補足のほうがいいかもしれないし、
1:20:23	あとはこれ、もうついでに言いますけど、最初のこの、
1:20:29	今回 5.5 点。
1:20:32	3、違う。違う。5.5 がとても大事な。
1:20:36	説何
1:20:38	違う。
1:20:40	なんですけど、そこの前段の部分、
1:20:43	本当に
1:20:44	次の会合で資料としているのかなと、そのコメント回答の資料にいるのかなという部分もあって、例えば、
1:20:52	西 2 章 3 章、
1:20:57	4 章。
1:20:58	5 章かなここ行ったのも、介護で説明しないようなものはもう 1 回補足にちょっと落として資料としてはね、そのコメント回答っていう形で、
1:21:09	特化したような形にしてもら方がいいのかもしれないなと思いますので、
1:21:16	をお願いします。お任せしますよその辺は、
1:21:22	北海道電力奥寺でございますちょっと確認させていただいている補足というのは、手元で別冊で開きやすいようにというような意味合いと理解してよろしいですか。
1:21:32	なるほど。
1:21:34	5-1 から 5-5-2 までは事前、事前検討までは、先ほど私が逆に付けとかなないとわかりづらいんじゃないかという。
1:21:44	私の国の考えで前段につけさせていただいてるんですけども、その趣旨で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:49	全体の資料として見づらいというような趣旨でしたので1冊に分けるなど、補足というような方向で考えたいと思います。
1:21:58	ちょっと、以上ですけどちょっと、
1:22:02	ちょっとどういうふうなものを補足に分けるかも含めて、考えたいと思います。以上です。
1:22:10	はいタニ数お願いしますちょっと脱線ついでに言うと例えば、
1:22:14	何か評価する上での、
1:22:18	前提みたいな例えば評価地点をこういう考えで設定していますよとか、評価にあたっての検討条件困難ですよとかいう、
1:22:29	何ていうんすかね、津波評価の、
1:22:32	このかなり前段、前段の前提条件みたいな部分とかも含めて、多分補足資料に、
1:22:40	あった方がいいんだと思うんですね。
1:22:43	わかります。
1:22:50	藤北海道電力の青木です。甲谷さんの声、解析の条件に当たるところで、評価範囲とか評価地点だとか、そういったところ、
1:23:01	これまでの日本海東縁部の評価の中で説明した資料、説明してきたという流れもあって今回資料に入っていないんですけど、その辺りが、補足資料とかに入っていた方がわかりがいいのではと。
1:23:14	いうふうなコメントと受けとめておりますそういった趣旨でよかったですでしょうか。
1:23:19	はい。そうですね。そう。それと会合で説明しな、しないけれどもひょっとしたらこう使うかもなっているような部分はもう、
1:23:30	補足のほうに入れて整理するっていうのも手かなとは思いますが、それ説明しやすさとかわかりやすさどうどうする方がわかりやすいかなというので考えていただけたらと思いますので、お願いします。
1:23:48	当北海道電力の青木です。ちょっと確認させていただきたいところがありまして、
1:23:54	3ページのところお願いします。
1:24:01	今回の資料の説明としては、指摘事項のNo.26、
1:24:07	このパラメータスタディの時間ピッチの説明についても今回回答にしたいと考えております。そのためここに関わる指摘事項の回答に該当するところっていうところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:18	目次のページになるんですが、5.1 所から 5.4 章っていうところを今回資料化した資料化して、本資料側でまとめているというところになっております。
1:24:29	この点踏まえても、必要に応じて補足資料側に移した方がいいものがあるれば、移して欲しいというような形指摘事項として受けとめております。以上です。
1:24:44	はい、わかりました。ありがとうございます。嘘そうですねこのあれか。
1:24:49	そっか 5.1 は説明しなきゃいけないってということですか。
1:24:55	ちょっと私の途中、言った言葉っていうのはあんまりゆん。
1:25:00	北海道電力の考えとは違うことを言っていたのかもしれませんが。今考えていただけたら、
1:25:07	細かな検討。
1:25:09	結果だとか、そういう、そういうのは本編じゃなくていいかなっていうふうにとちょっと、
1:25:14	意見を訂正させてください。
1:25:26	続いていきますね。ちょっと何かのところの、
1:25:30	流れに沿って確認していくんですけど、231 ペイジー、これ、
1:25:36	200、230231 ページで言いたいのは、
1:25:42	あれですねえ。
1:25:45	検討後、
1:25:47	ていうのをいわば、検討⑤っていうのの、
1:25:53	の条件を確定するためにやりましたってよ、要するに、むしろ県東部からこう、
1:26:00	なんていうんですかね、一段高、
1:26:04	何か検討後にぶら下がるような検討の内容を、がここから始まる。
1:26:11	ていうことかと思うんですけども。
1:26:16	これ、さっきもさっきとおんなじですけどさ、最初の部分で検討目的検討内容っていうのが、
1:26:23	わかかわかりにくいんですよ。で、
1:26:25	もう 1 点は、
1:26:27	これもちょっとこう、
1:26:29	説明してくれたらいいかなと思ってますんで、
1:26:32	もう一つは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:37	これは地形、地形モデルを選定するための話が検討②ですよと言ってるんですけれども、
1:26:47	それを、それを確認するのは水何7Dで検討したらいいんだと。
1:26:56	というような話が、
1:26:58	あるんですよ。これ、
1:27:01	7Dで県ササキの話と一緒にですけど、さっきなんか7Dで検討することが、
1:27:09	他の場合でも、
1:27:12	おんなじようなことがいえるんですか。
1:27:16	7Dじゃなければ、7Dとは違った、励んで、ここで検討した場合は、選ばれる地形モデルって変わってくるんじゃないんですかとかその辺がね。
1:27:29	何かよくわからないんですね説明が。
1:27:32	ここして欲しくて。
1:27:39	7Dだけを地形モデルの選定のときに、
1:27:43	県、検討する波源として7Dだけでいい理由っていうのが、
1:27:49	もし何か明確に答えるんだったら今答えてもらったらと思いますけど。
1:27:57	北海道電力の青木です。
1:28:00	こちらの231ページの円筒2のの位置付けといいますか大きい目的になりますか、
1:28:08	これちょっと行間が足りないところがあって恐縮なんですけど、
1:28:11	検討2のAについては、検討⑤の移送を、
1:28:18	磯早くした場合発電所に近づけた場合の対象ケースを選定するために、前段の検討結果って書いてるんですけれどもここは地震に伴う津波の
1:28:28	第2はのピークと川下の第一波のピークが重なった条件で、一番大きくなる地形モデルっていうのを選定することを目的にしております。この中で、
1:28:39	川白の第一波のピークと地震に伴う津波の第2はピークは重なる波源が何かっていうところになりまして、
1:28:46	そうなってくると実際に重なったケースというのがこのなのでいいだけになりますのでそれ以外のケースだと、目的に合致してこないというところがありますので
1:28:57	7-Dの実際にピークとピークが重なったケースを対象に分析していると、というような流れになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:04	以上です。
1:29:11	うん。はい、谷です。
1:29:16	何か言い方、言い方は悪いかもしれませんが
1:29:19	対象となる波源を最初に絞ってるから検討対象と、そこから拾ってくるのが7でいいなってくるだけであって、ぜ、全然違う波源だったら、
1:29:31	あれなんですかこれは。
1:29:34	地形モデルで前、
1:29:37	またまたこう、
1:29:41	地形モデル丸一井。
1:29:45	何。
1:29:49	都丸1、H系モデル①で、その次のページを見ると、検討するって言ってるんですけど、この波源が例えば7DE以外で第2はが重なるようなものが、
1:30:00	もしあるんだとしたらそれはんな何て言うんですかね地形モデル①以外も検討しなきゃいけなくなるってことなんですけど、この
1:30:10	7Dの何か汎用性というかその辺のところをどう考えてるのかなっていうのを聞きたかったんですけど。
1:30:22	北海道電力の青木です。
1:30:25	この7Dを対象にすると、防波堤の損傷を考慮した地形モデル①が選定されるというところで、他の波源についても、この①で良いかと、いうような、
1:30:38	認識の間違いかと考えてますそれに対する回答としましては、
1:30:44	当間ちょっと結果からのや、後になってくるかもしれないんですが検討⑤のaっていうところで、
1:30:52	違う、
1:30:55	①後、モデルに関しての分析からなるんですが、
1:30:59	川白の第一波のピックと地震に伴う津波の第2版のピークはもう重ならないっていうところを確認したので、
1:31:09	他の波源については、他の波源を対象にしても、この重ならないっていうところがもう見えてきているのかなと思ってます。こちらで回答になってますでしょうか。
1:31:22	はい、赤木です。何か、最初に選んだ5ケースだけそれとの関係5ケースじゃないってことなんですけどね。すいません私もこれ混乱してきてますけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:34	なんかだから、この係数で、この波源でこの地形を選定するんだっていう、その辺の説明をですね、もうちょっとただ単に今この、
1:31:47	231 ページだったら第 2 版のピークが最大となるものとしてこれを選定したっていうだけの説明になってるんですけど、これが適切なんだと、というような
1:31:59	考えがあるんだったら、ほか、要するに他の分だったら重ならないから、
1:32:04	これだけを見とけばいいんですとかいう話だったらそれでいい。いいのかもしれないんですけど、
1:32:09	ちょっとね、
1:32:11	私はこれ資料見ててわかりにくかったなと思ってて、ぜひ
1:32:16	説明加えてもらえたらなと思います。
1:32:21	他用電力の青木です。この辺り、先ほどの質疑応答を踏まえて、この 7 - D に至った考え方のところをもう少し、
1:32:31	根拠を補充させていただきたいと思います以上です。
1:32:43	規制庁佐口ですけども。
1:32:45	ちょっとやっぱりすいません少し基本的なところを確認させていただきたいんですけど。
1:32:52	結局今まで我々コメントした 9 ページとか 10 ページの、
1:32:56	もともとの趣旨って本当にご理解いただけてますかっていうところなんですけど。
1:33:03	いや、今日、実は
1:33:06	当然資料も見さしていただいて、説明も聞いて、今タニとの確認でいろいろ、
1:33:13	やりとりを聞いて、ちょっと私、
1:33:17	よくわからなかったのが、
1:33:19	例えば、
1:33:22	9 ページの、
1:33:23	そもそもの我々の指摘、
1:33:26	この趣旨っていうのは、
1:33:28	今選ばれている。
1:33:31	ものが本当に敷地に対して大きな影響を及ぼすもの。
1:33:37	として、この組み合わせた、
1:33:39	もの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:33:40	がちゃんと
1:33:43	最大となるようなものっていうのがきちんと選ばれているかどうかっていうのを、
1:33:49	示してくださいと。
1:33:51	いうことを求めていることに対して、今日回答だところにも書いてますけれども9ページの下線を引っ張って、
1:34:01	この敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の、
1:34:05	選定を行うことでその妥当性を示すっていうのが、まずもってわからなくてで、今日青木さんの説明で、いろいろ追加で検討なんかにして、結果的には、
1:34:18	これまでと違う別のものが、さらに大きいものとして出てきたので、
1:34:23	それを選ぶことによって妥当性を示していますみたいなちょっと、
1:34:29	やりとりがあったんですけど、そうするとですよ。いや我々の求めているのはそうじゃなくて、じゃあ今御社が選定したもの、これが、
1:34:40	もう最大のものなんですということをきちんと説明してくださいという問いに対して、
1:34:46	今回ですね。
1:34:48	やっぱり、
1:34:49	例えば、地震、地震による津波のところを選んだ20ケースってあるんですけど、
1:34:56	結果として、組み合わせの結果としてそれ以外のものが今回当然選ばれたわけなんですよね。
1:35:02	そうすると、
1:35:03	じゃあすべてに対してそういう検討をやってるかっていうとやってるわけじゃなくて、他にもひょっとしたらあるんじゃないのという疑問が当然まだやっぱり残っているわけで、その中で、今回の検討、
1:35:16	今これだけ検討しているんな特徴を踏まえて、
1:35:21	その上で、
1:35:23	今の今回の少なくとも結果ですよ。
1:35:26	これが、
1:35:28	これ以外のものはもう選ばれることはないという、
1:35:31	そういう、
1:35:33	話。
1:35:34	最後にちゃんとかう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:37	分析とか、検討を踏まえた上で、今回の結果で、これ以上ないという説明。
1:35:44	それって、今回の資料にないですよ。
1:35:49	我々が求めているのはそういうこと。
1:35:53	なんですよ。それが、
1:35:55	確実に何かの結果をもって示せとかって言うわけではなくて、結局それが10ページでも、コメントの方の、
1:36:04	求めているような、
1:36:06	どういうふうに導き出すのか。
1:36:09	という論理構成ですよ。
1:36:13	これをきちんと説明していただく必要があって、
1:36:17	だから、この10ページで今こうフローと言ってますけどこれって結局やったことを並べているだけで、
1:36:24	こういう検討をした結果、こういうことがわかって、だから、今の、
1:36:30	波源を選定すれば、もうそれ以上のものはないというその妥当性ですよ。
1:36:37	そこを説明していただく必要があるんですけど、そこが今の資料って、
1:36:42	全くもってぼっかり抜けてるんですよ。
1:36:45	そこは、
1:36:46	ちょっとご認識。
1:36:48	いただけてます本当に、
1:37:04	北海道電力奥寺です。今おっしゃった認識は持っております我々もともと、
1:37:11	その事前検討と称している予察の段階である程度特徴が出てきていて、
1:37:17	おそらくもって、
1:37:20	ピークとピークが重なるっていう特徴をとらえると最大になるんだろうなど、言ってしまうと、
1:37:27	7の定義とか地形モデル1っていうところが、
1:37:32	そういうふうな特徴が出やすいんだろうなっていうような、
1:37:38	予察を持っておりましてそれを証明するために、例えば検討2とか検討3とか検討4っていうところの材料を検討し、
1:37:47	最後、5で、きちんと確認というところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:53	ほぼほぼなのでいいっていう結論ってのは我々の予察通りだったんですけども、一部、結果として、違うものが出てきたっていうところはあるんですけども、考え方としては、
1:38:08	論理的に考えているつもりでその論理的なところが、
1:38:15	表現、
1:38:17	うまくされていないというような指摘を冒頭から受けているような、か我々としては、
1:38:25	予察に基づいてこういう順番でやれ、やればこういう結果が出るんだろうなというような
1:38:32	考え方を持って、このような流れでやっているのでもそこがうまく伝わるようあと妥当性っていうところで言うとそこをきちんとこう、
1:38:43	表現、考察が足りない部分、ここの、
1:38:46	資料の中には足りない部分があるのかと思いますので、
1:38:49	層厚をきちんと説明できるように、資料の表現とか検討をしたいと考えているところですので以上です。
1:38:58	はい規制庁佐口です。少なくともこの認識がきちんとされているのであれば、スキーム少なくともそれがわかる形で資料に示していただいて、
1:39:08	結果だと思うんですけど。
1:39:10	どうもなんか、7-D等でおっしゃいますけど私少なくともその斜めでいいとかって、
1:39:16	特に何とも思っていないで、
1:39:19	逆に言うといや6のD井田ってありますよね。
1:39:22	で、結局、
1:39:24	いろいろこう、
1:39:25	御社が分析、検討された結果、やっぱりその波源の位置だと、一番重要なのは、
1:39:32	ていうのをおっしゃってるのは私も当然その通りだと思いますけども、そうすると、
1:39:37	例えばですよ。いや一番近いのが、
1:39:40	それは、
1:39:42	当然、
1:39:43	ピークとして時間としてはですよ。
1:39:47	当然それって早く、
1:39:49	出てくるとか、そういう話ですよ。そうすると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:53	いや、今見ると12ページとかで見ると、いや当然ながらパ断層パターンで言えば、いや、7とか言ってますけど8の方が近いわけですよ。
1:40:02	今度逆に言うと遅い方って、じゃそれって遠い方だよって考えると、
1:40:08	いや、当然その1とかありますけど、2とかだって当然、
1:40:14	あるんですよ。
1:40:15	あとはそれが結局組み合わさったときに、じゃあどっちが大きくなるのっていう話があって、
1:40:21	そういう文化考察、例えば、それは今まで地震による津波単体の時でやってきた、特に時のものでもいいんでそうそういうことも踏まえて、例えば、いや、
1:40:36	パターン。
1:40:37	7と8と比べたら、
1:40:40	その重なるような、
1:40:42	時間体の水位っていうのは、確実に例えばなのが大きいんですけどか、例えばそういうことを言っていたら、じゃあ重なったって、いや、近ければ当然その、
1:40:54	ピークが出てくる時間は早いんですけど、そもそもの水位が、小さければ、それは値は考える必要はないですよとか、なんかそういうですね。
1:41:04	考察もなくですねもう決め打ちで申すし、少なくとも、
1:41:09	20ケースある中のうちの、
1:41:12	いわゆる波源として同じようなものを五つだから、分類化をしてですね。
1:41:17	この五つだけ検討すればいいんですよみたいな話。
1:41:21	されてもですね、いや、
1:41:23	それはあくまでも検討でこうやってやっていく分にはわかるんですけど、でもその結果、
1:41:31	下を踏まえて、
1:41:33	結局やっぱりこの、
1:41:35	波源だけ選んでおけばこれで十分なんだという説明が、
1:41:39	やっぱり最後の落としどころのところで、やっぱり今ぽっかり抜けてるんですよ。なのでそこをきちんとやっぱり示して説明していただかないと、
1:41:49	じゃあ、本当に今の結果で、
1:41:52	誰だそうだよって、我々は多分、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:56	はいそうですねとは、今いえる状況ないと思ってますので、そこをしっかりと、
1:42:02	もう一度ご認識いただいて、ご説明いただきたいと思います。
1:42:12	北海道電力の青木です。
1:42:15	ちょっと補足で説明させていただきます。
1:42:19	資料の方に 140 ページ等をお願いします。
1:42:24	240 ページの検討④の
1:42:27	ていうところの位置付けになりますが、
1:42:31	検討 4 のにおいては、地震に伴う津波のパラスタ係数を対象にいろいろ分析をやっていったという説明になっております。その中で、
1:42:43	例えば 242 ページ、
1:42:46	とかですと、断層パターンの違っていくところで断層パターン 5 と 6 とかの比較をしております。ペーパーの中で決定ケースになるのが、断層パターン 6 のケースになっておりまして、
1:42:59	そのハケを見てくると、一番、磯が、
1:43:03	早くて大きいのが断層パターン 6 とか、そういった流れで、いろいろなパラメーターについても分析して整理して行って、その結論というところで、波源位置が一番、
1:43:14	位相が速くなるっていう方向にまとめているところになりますんでところでも分析もしておりますので地震に伴うやられてることはわかるんですけど、
1:43:26	じゃあ逆にお聞きしますけどここに断層パターン 2 とか 8 ってます。
1:43:42	当北海道電力の青木です。
1:43:44	断層パターンの考え方なんですが、241 ページの中央に表がありまして、
1:43:52	ちょっと抜けてるケースもあるかと思うんですが一番上段のところ断層パターンの考え方が書いております。
1:43:58	ここで西傾斜に該当する断層パターン 3478。
1:44:03	に該当するもの。
1:44:04	については 7-D E がもう重なっていることを確認済みでありますのでここでは検討対象外にしています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:11	断層パターン1と2については、波源位置を西方向に移動させたケースなので、位相が遅くなるっていう観点から、そもそも確認する必要がないというふうに考えております。
1:44:22	そういう考えで、242ページではクラサバ段階わかりましたいいです。多分使う、伝わってないので、逆に多くお聞きしますけど、240ページって、
1:44:34	早くなるっていう話だけで多分、御社にご説明したいのであれば、逆に言うと私は8ってどうなんですかってお聞きしますけど。
1:44:44	8の重なる。
1:44:47	8の陸上地すべりが重なる部分が7より大きいのか小さいのかっていうのは、どこで確認できるんでしょうかっていう。
1:45:00	北海道電力の青木です。ちょっと行間で説明できてなかったところもあるかと思うんですが、
1:45:06	検討4のの目的のところ、
1:45:09	第2はのピークに着目してましてこちらについてはもう位相が速くなる方向に着目する方向で検討しているというところで
1:45:18	速くなるっていう観点で整理したところになります。
1:45:22	その遅くなる方向の観点ですと、検討4-Bとか4の紙になりまして、
1:45:28	例えば268ページ、お願いします。
1:45:35	200すみません269ページの中央の表のところに、同様の考え方で書いておりまして、西傾斜の断層パターン3478。
1:45:46	については、断層パターンなのでいいでも重なってることを確認してるので対象外にしますと、断層パターン12ってのは西方向に移動させたケースで、検討後のところでもうすでにやはり位置を移動させた検討をやっているの、
1:46:00	検討4では対象外にすると。
1:46:03	掘越にしております。
1:46:05	実際に比較しているケースについては、270ページの、
1:46:09	上段で県朝パターン5と6で比較しておりますと。
1:46:14	この遅くなる観点はこっちの検討4-bとか4-cの方で整理しているという回答になります以上です。サグチですごめんなさい。わかってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:24	当然わかってます資料見てるので、そうではなくて、あくまでも、じゃあ、先ほどの269ページでもいいですけど、これ検討⑤でもうやってますって話ですけど、検討⑤って、
1:46:39	本当にそこまでやっています。
1:46:41	ていう話ですね。
1:46:43	つまり重なる部分。
1:46:47	陸上地すべりと重なる部分の、
1:46:50	水が、
1:46:52	今の代表できるとしている。
1:46:57	断層パターン6なのかなのかもしれないですけど、
1:47:00	それよりも大きい小さいかという検討って、
1:47:05	多分されてないですよ。
1:47:08	あくまでも、何が言いたいかという、最大の水位に着目して、落とせると言ってるだけの話で、
1:47:17	重なる部分が大きい小さいかという検討は、当然ながら私たちは今まで見たことがないんですけど、
1:47:26	そういう検討されてるわけじゃないですよっていう。
1:47:29	だからこそ、こういう考え方をすれば、当然その間重なる部分だって、小さいと考えられるので、
1:47:38	そもそもやる必要ないんですよというご説明があればまだわかるんですけど。
1:47:44	だからそれがそのぎょ行間という言い方が正しいかどうかわかんないですけどね。
1:47:49	ただそそういう説明もなしに、
1:47:52	もうこっちで考えるのは、
1:47:55	なんでしたっけ、断層パターン6だけでいいんです。
1:47:58	で、前々のところもそうなんですけどとにかくの断層パターンだけで、
1:48:03	断層パターン6だけで検討すればいいんですという、その絞り込みの前段階の話。
1:48:11	これがいわゆる論理構成の話で、だからこういうものを、
1:48:16	考えておけば十分なんですと、それは、
1:48:21	事前の検討ですとか、それからさらに前の、その地震による津波の検討結果なんかも踏まえて、
1:48:29	そういうことから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:31	ここでは、これだけを考えておけばいいんですというそういうストーリーがちゃんとこうリロ一整然と。
1:48:39	されていて、
1:48:41	最終結果に結びついているのかっていう、そういう、
1:48:44	当然我々は確認を、
1:48:47	しようと思っているんですけど、だからそれが先ほどから申し上げているように、
1:48:54	今の資料では、
1:48:56	やっぱりぽっかりと抜け落ちてる。
1:48:59	そこをしっかりとやっぱり説明していただかない限りは、
1:49:04	場合によってはこれ、
1:49:06	やっぱり我々としてはわからないので、じゃあ他の、
1:49:11	要は 20、20 ケース以外の、
1:49:15	断層パターンなんかも含めて、なんでやなくていいのっていう、当然ながら、
1:49:21	そういう疑問点っていうのはずっと残ったままなので、そこはきちんと説明していただきたいってそういう趣旨ですけど。
1:49:28	本当に
1:49:29	シュンツ田尾。
1:49:30	りました。
1:49:38	当北海道電力の青木です。と先ほど佐口さんの方で、西に移動させてその間の水位が大きくなるケース検討してないのではというような発言があったと思いますが、
1:49:50	をやっておると認識しておりまして、例えば 276 ページの、
1:49:56	検討 5 の B とか、
1:49:58	ご覧ください。
1:50:01	こちらももとのケースが、
1:50:03	くの字モデル東移動実機のメーターケースの 15 であったものを、先ほどの断層パターン 2 はやってないということかと思うんですけど断層パターン 2 の範囲まで、
1:50:15	西新居をキロメートルピッチで移動させて、その結果このピンクの破線で重なる箇所が一番、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:22	江藤組み合わせれ水が大きくなると考えましてその最大ケースになる、西へ 10 キロとかに 45 キロっていうのを、後半の組み合わせのパラスタ-をやっていると。
1:50:33	認識ですのでその観点から断層パターンの 2 とかっていうところはもうカバーできたんですねその辺はわかってんですよ。それはわかってる上で、
1:50:45	何でこの説明で十分なのかっていう、そこを交通、
1:50:50	には網羅してんですよとか言っていると、何かこれはどうなのあれはどうなのみたいな話になっていくんで、多分僕、ちょっと順番に聞いてたんだけど、大事な、
1:51:02	この資料で大事なのが検討④ってしてるところと、⑤っていうところこれが特に説明したいことなんですよね、北海道電力としては、で、
1:51:12	何でこの検討④で、青木さん言うようにこのパターンはパターンでここまで網羅してるんですよっていえるのか、それは、傾斜角の話と、その波源位置の、
1:51:24	二つを組み合わせれば、網羅性がこう説明できているんだとか、
1:51:31	例えばこれも何かこれ並べてるだけですよね今。
1:51:36	242 と 243 って、例えばアスペリティ 1 だって、これは僕らは最初このアスペリティ位置が離れてるやつは遅れてくるから、
1:51:48	収まるんじゃないのかなとか思ってただけど、そういうこともちゃんと説明しているつもりなんでしょう。
1:51:56	で、何かこう、
1:51:58	ちゃんとここの検討で、どういう方は、どういうことを網羅した検討になっている。
1:52:05	つもりなのかっていうのを、もっとこうちゃんと説明すべきだと思いますけどね。先ほど青木さんの話を、
1:52:14	ちゃんとし、したいのであればですね、で、なおかつもう何か、
1:52:19	ちょっと時間がないので私
1:52:22	この④⑤が大事っていうのは、わかってて、ちょっと順番に確認していったんですけども、④⑤っていうのをもっとちゃんと前面に出してこう資料メリハリつけてください。
1:52:33	で、④⑤をやるにあたっての条件として、②③とかをやってきたんですよ。それは②③で選んできたものが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:44	それ、それ、そういう条件でやればいいんですっていう説明をちゃんとしてくださいって、
1:52:53	それが多分北海道電力が検討してきたことを我々に伝え、伝えなきゃいけない最初のことなのかなっていうふうにも思うんですけど、今のこの、何て言うのかなこの、
1:53:06	何か。
1:53:07	順番をこうこうなったらこうなってこうなったときにはこうなりますっていうようなこう順番で見えていくと。
1:53:15	もう本当に黄砂、最後何を言いたいんですかねっていうのがすごくわかりにくいんですね。
1:53:20	で、さっきの話を青木さんの話でいうとこれ、
1:53:26	サグチの方から質問のこの20、ケース1から20以外のこともこれで説明できるんですっていうような話かと思うので、それ。
1:53:37	これ資料読んでてわかんないですよ。
1:53:39	どこに書いてるんですかって言いたくなってきて、
1:53:43	そのパターンもそうだし
1:53:45	A s p e r i t yの話もそうだし、これいろんな話をごちゃまぜにして私言ってますけど、
1:53:51	これで妥当なんですよっていう青木さんの説明。
1:53:56	ここ、
1:53:59	伝わってきてないので、
1:54:01	ちゃんと説明してもらって
1:54:04	みたいなと思います。
1:54:07	で、だから多分この検討①②③とあって、何か軽重があるはずなんですね。
1:54:13	やりたい、示したいことの、
1:54:16	で、
1:54:17	そこを考えると、
1:54:22	資料を、
1:54:23	そんなドラスティックに変える必要はないと思うんですけども、
1:54:27	追加して説明したいことはちゃんと入れ込んでくださいっていうのが趣旨ですのでお願いします。
1:54:36	北海道電力奥寺です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:41	全体で何を考えたかっていうところの、また冒頭の話のやりとりに戻ってしまおうんですけどもその辺の
1:54:50	説明が、言葉足らずで伝わらないんだよというようなところ、趣旨言われているような気がします。
1:54:57	これ、1とか2とか3とか4とか5ってそれぞれ目的がありますので、その目的、
1:55:05	どのぐらい、どういうことを目的にしてるっていうところが全体の中で、農道とか条件設定とか
1:55:14	途中の解析とか最終結論とかっていうそういう位置付けとかですね。
1:55:19	そこでいろんな1235で持ってきているケースの、
1:55:25	網羅性妥当性っていうのは、様々な理由があって、持ってるっていうのが我々なりにありますのでその辺がわかるように、
1:55:37	我々の示し方といいますか表現等を再検討したいと思います。以上です。
1:55:58	規制庁佐口ですけど。
1:56:02	もう
1:56:05	さっきのくどいように、
1:56:07	言ってますけど、
1:56:09	我々の趣旨としては、今の検討ケースというものを検討するだけで、きちんと
1:56:17	大丈夫なんですよと、それ以外のものは検討する必要がないんですよこれで十分なんですよということをきちんと説明してくださいということなので、
1:56:27	その
1:56:28	断層パターン。
1:56:29	一応あります丹羽有賀さんありますとかそういう話じゃないんですよ。
1:56:34	なので、そこはちゃんともう1回ちょっと念押ししますけど。
1:56:40	一応ご理解いただけました。
1:56:46	北海道電力奥寺です。趣旨とらえております。
1:56:52	いただいた趣旨の中でちょっと頭を、
1:56:56	もう一度整理したいと思います。
1:57:02	はい。規制庁佐口です。で、ちょっとちなみになんですけど、これ、さっきのそのアオキさんで、いや、
1:57:10	謎パターンあります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:12	にもありますって、おっしゃったページで、これなんか、ケース⑧とか⑧18 だったか 16 だったかなって書いてあったんですけど、
1:57:22	ということは、これっていわゆる
1:57:25	何ですかね。
1:57:27	60
1:57:29	ページとかから、
1:57:32	示されている 63 ページ。
1:57:35	このケース 0 幾つとはまた違うってことなんですか。
1:57:40	いや、
1:57:41	なのでそのケースの 0 幾つと違ってというのが、途中でコロコロ変わると。
1:57:47	何を見ていいのかよく分かんなくて、
1:57:51	ちょっとそこを何て言うんですかね。
1:57:54	てっきりてっきり後ろの方も含めてこのケースの 0 幾つっていうのは統一されてるかと思ってたんですがそういうわけじゃないんですね
1:58:05	当北海道電力の青木です。ちょっと確認ですが、
1:58:10	268 ページとかにこの全体のフロー図、どのページでもいいんですが書いてまして、
1:58:17	おっしゃってるところは検討③の B のところのケース 15 って書いてあるのとか。
1:58:24	検討 3 の C のケース 1 っていうこの二つが整合してないとかそういった、
1:58:30	ご質問でしょうか。我々としてはこのケース 1 から 20 の通し番号については、同じケースを指すように整理していると認識しております。
1:58:40	以上です。
1:58:42	はい、佐口です。いや、何でかっていうと 60 ページから 64、3 ページまでの、
1:58:49	ケース。
1:58:50	①から⑳ですよねこの中に、断層パターン 2 なんてないですよ。
1:58:57	一応ありますけど、
1:59:00	当然、私がさっきから言ってる断層パターン 8 もない、ないはずなんですけど、それが何かさっき、後ろの方では、いや、
1:59:09	断層パターン人にもやってますっていう話で、だったのであれっと思ったんですけど。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:15	そそういうちょっと、
1:59:17	す素朴な疑問というか、お聞きしたんですけど。
1:59:21	当北海道電力の青木です。前段の前半の方では断層パターン2というの はやってないんですけども、検討⑤の方に行くときに、
1:59:35	断層パターン2に相当するところをやっているというそういった説明に なります。
1:59:41	具体的には、はいわかりました件。
1:59:46	断層パターン6を、
1:59:49	寄せ寄せて、
1:59:52	要はその断層パターン2の1に、
1:59:56	来るような形でやったとそういうことですね。
2:00:01	北海道電力青木です。そういった認識であってます。
2:00:05	はい、佐口ですけども。わかりましたなのでそこはちょっとわかるよう に
2:00:11	例えば
2:00:13	ケース0幾つの1とか2とか、もうちょっとですね。
2:00:18	実際にこの前段で言ってるケースと全く同じものではないですよねって いうので、
2:00:25	それでちょっと今確認させてわかりましたどういうものかというのはわ かりました。
2:00:40	規制庁佐口です。ということは同じような観点で、
2:00:45	何でしたっけ。
2:00:47	断層パターン8もそれに相当するようなものは、
2:00:51	あるっていう理解で。
2:00:53	いいですかそれとも本当に、8だけはないっていうそすちょっとそこを 教えてください。
2:01:02	北海道電力の青木です。結論から言うと断層パターン8はやってないとい うところになります。説明としては書いてある通りで、なので井手代 表しているという説明になります。以上です。
2:01:19	はい規制庁サグチぞ事実関係はわかりました。
2:01:24	で一応御社は7で代表していると、代表で、
2:01:28	本当にできるのかどうかっていうのは我々は確認できないという、今の 資料でですね。
2:01:33	そう。そういうことでよろしいですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:01:40	北海道電力奥寺です。一つ一つ確認あったところも、わかりづらい点だというふうに受けとめられているという認識ですのでそういった
2:01:52	我々がやっていることを考えていることというのを、つぶさにわかるような形での表現等を、
2:02:02	検討したいと思います。以上です。
2:02:04	はい。規制庁佐口です一応誤解のないように申し上げてますけれども申し上げますけれども、それをやれとかっていう話じゃなくって、その考え方がきちんと示されていれば、
2:02:17	我々もわかるんですけどそうそういった説明が、何か一方的に例えば7でも代表できるんだって言われても、じゃ、なんで代表できるんですたっけっていうところは
2:02:29	多分、いや、よくよく見てみていければ、
2:02:33	あるのかもしれない、ないんですけど。
2:02:35	何か今はそういうところが見えないかなと私は思ったので、
2:02:40	そこはきちんとですね、わかるような形で、ご説明いただきたいと思います。
2:02:50	オクデラです。わかりました。
2:02:56	谷です。ちょっと御どんどんもう時間もオーバーしてきてて、進めたいと思うんですけど。
2:03:03	なぜかちょっとう
2:03:06	を大きめなところを確認していきたいんですけどさ、303 ページ、302 ページから⑥の検討⑥っていうものの、
2:03:17	説明が始まるんですねこれは。
2:03:22	最初に 5.5. 3 では主放水高の上昇側と、
2:03:28	ここだけお話をしましたってそ、その次に高膨張で上昇側っていうのを、と分けてやりましたっていう、いう中で、大分その 5.5. 3 でやってきてることとは大分こう、
2:03:41	コンパクトな、やってる検討の内容になってて、
2:03:46	何をやってるかってなんか見ててよくわかんないところから確認して303 ペイジーなんですけれども、
2:03:57	何か検討内容で、
2:04:03	第2 は第一波でピークの分を見ましたよっていう話をしてるんだけど、
2:04:08	検討内容の二つ目のマルってこれ何なのかなと思ってこれ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:17	要するに 5.5. 3 とおんなじ上昇メカニズムであることを確認するっていうのがこの検討の、
2:04:26	方針なんでしたっけ、これって。
2:04:29	そう。これ何波源を、
2:04:33	波源の選定の妥当性みたいなのをこう確認するのが目的じゃないんですかそれ、そこをまず、
2:04:41	勘違いしてたろ。
2:04:43	を教えてください。これは、
2:04:46	5.5. 3 と同じメカニズムであることを確認とするような、
2:04:54	なんだ。
2:04:56	検討内容なんですか。
2:05:02	北海道電力の青木です。目的については、谷さんがおっしゃってるところと同じかなと思ってまして。
2:05:11	当資料上の一番上段に書いておりますピークとピークが重なって水位が大きくなる可能性について検討するっていうところが、大きい目的かなと考えております。それを説明するにあたってどういった検討しようかっていうところでこの二つの丸、
2:05:26	下段で書いてるものやあって、水位上昇のメカニズムが一緒であるので、すでに 5.5. 3 章で検討してる内容の中で、代表できるっていうようなところを説明したくてこのような、
2:05:39	文言にしております以上です。
2:05:42	はいはいたんです。粗相の行間がなくって検討内容で二つ目のマルができたらどうなるんですかっていうのが、何かわからなくてですね。
2:05:57	これを、これを確認することによってどうなるのかっていうのはちゃんと、
2:06:02	資料でもわかるようにしてください。
2:06:05	あとは、
2:06:08	さっきの 5.5. 3 では、
2:06:12	何か地形モデルを代表させたりとか、ちょっと検討する波源をこれにしますとかいう話をしたりだとか、
2:06:20	何か検討するにあたっての条件を整理して、しするのから始めたはずなんですけど、なんでこの 303 ページの、
2:06:32	傍聴ての上昇側については、
2:06:35	地形条件みたいなのを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:39	触れなくてよかったんですか。
2:06:53	藤北海道電力の青木です。例を挙げますと、303ページの左下の赤枠で囲っている中で、
2:07:02	着目するピークについては記載の通り、2、第2版のピークに着目します。
2:07:08	こちらについては着目するピークが重なって水位が大きくなった条件というので、この5.5.3の条件を、この検討6のでも引き継いでるっていうところも
2:07:21	ございますと、これ、説明になってますでしょうか。
2:07:27	羽田野勇澄
2:07:30	そういう説明がわからないんです。どこ見たら、それがわかるんですか。
2:07:38	ていうのが、
2:07:42	ちゃんと丁寧にね説明してもらったらわかるのかもしれないんですけども、どうしてこの、
2:07:49	5.5.3でやったことがそのまま流用できるのかとかですね。
2:07:56	これ見ててわからないですよしかもこれってもう、
2:08:01	これ、
2:08:04	ちょっと重箱の隅つつくような感じかもしれないですけど検討⑥のって、
2:08:09	5.5.2からそのままおりてきているだけですよねこのフローでいうと、これ5.5.3と何か独立しているのかなと思ってたんですこの矢印。
2:08:20	違うのかな。
2:08:24	僕は
2:08:27	ちょっと待ってね。
2:08:29	フローは11ページですか。
2:08:31	11ページの、そう。
2:08:34	オレンジ色のフローが右側からおりてきてるのは6-Cにかかってて、
2:08:39	赤色の左側赤い色の矢印がこう入ってきてるのは5.5点。
2:08:46	2から入ってきてこれって5.5.3の検討内容とどう関係するのかがよくわからない。
2:08:53	多分なんか、あんまりそういうことにこだわっちゃ駄目なのかもしれないんですけど、とにかく、
2:08:58	5.5.3の検討結果を引き継いでいるんだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:09:03	何でそれが引き継げるのかっていう話と、引き継いでいるっていうこと。
2:09:09	宣言する、する、してもらわないと。
2:09:12	よくわからないっていうところがあるのでお願いします。
2:09:28	北海道電力の青木です。検討6のAのところの条件設定の考え方に至るまでの説明が不十分というところなので、この辺りわかりやすくなるように、資料、
2:09:40	この修正を図りたいと思います以上です。
2:09:45	はいお願いします。だから、さっきの説明303ページの検討内容です。
2:09:52	メカニズムが同様であることを確認するっていうのが検討内容なんだけど、その検討内容の前提が、同様のメカニズムであることを前提にして、
2:10:04	から検討して、同様であることを確認しているっていうふうになんかさっきの説明を聞くとですね前提条件とこの確認内容っていうのは、何かよく関係がわかんないなっていうのを感じてますので、
2:10:16	その辺、ちゃんと説明してくださいね。
2:10:59	なんかもう続けますね。で、これもここちょっと細かい話で312ページは、
2:11:06	何か検討⑥のN o n水位上昇メカニズムっていうのをやってるんですけども、
2:11:12	これなんか取水口付近のはなCをしてるんでその前段は何名何反歩の話として水交付金の話をしてるのに、最後この312ページでは、
2:11:23	取水口付近ではこうですっていう話をしてるっていうのが、
2:11:28	何かよくわからないのと、312ページで、その結果を述べてるんですけどこれって実は312ページのこの絵の説明じゃなくってその前の説明が入ってるんですよ。
2:11:41	ちょっとそれは、何からこう判断しているのかっていうのが、
2:11:45	わかるようにしてもらえたらと思います。
2:11:49	あとはねえ。
2:11:51	329ページ。
2:11:59	なんか倉庫、これもどんどん言いますけど329ページ、検討結果の概要包絡されるっていうのは何のこっちゃって思って、この表を見て、
2:12:10	理解、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:12	しにくかったなあというのがあります。
2:12:17	あと 362 ページは、
2:12:21	これー、
2:12:24	なんか 361 ページ。
2:12:28	から、敷地に対して大きな影響を及ぼす波源の選定っていうことで、
2:12:33	言ってるんですけど、
2:12:36	余りに何て言うんですかね、どう、どう考えて、どうしたっていうのが全然なくていきなり、
2:12:43	特徴を踏まえた組み合わせ評価の最大ケースっていうのがポンとなる本と載ってるだけで、
2:12:50	どういう考えで、
2:12:54	ここ、こういう結果になるのかこれ。
2:12:57	多分あれですね北海道電力ってここを基準津波にしようとしてるっていうことなのかなとか思っ
2:13:03	てはいるんですけど、そこはちょっとまだ確認し、しないですけども、
2:13:10	これがな。うん。
2:13:11	このページが意味するところというのがわからないのと、
2:13:15	結局地形モデル、これまでは知見モデルごとに最大になるものをこう整理していった。
2:13:22	んですけども、今回この 362 ページで、地形モデルは、
2:13:28	へえ。
2:13:31	何ていうんすかね府営し、評価項目ごとに、
2:13:35	1 個の地形モデルを選んで、その時の一番大きな波源を、ここに表にしてあるわけなんですけれども、
2:13:46	その辺が、考え方が変わったのかもともとそうだったのか。
2:13:52	ていう、
2:13:54	話がよくわかんないのと、さらにこの地形モデル、いろいろな地形モデルを検討したんですけども、
2:14:01	この
2:14:02	一番大きくなるものだけを選べばいいんですよっていう、その辺の理屈。
2:14:07	その論理がよくわからなくて、そこはまず説明してもらわないと。
2:14:15	このページ議論できないかなと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:19	何か北海道電力としての考えをこう、こここういうのを選定、
2:14:24	選定する、こういう考えで、これが選定されるんですけどいうのを、
2:14:28	説明して欲しいですね今ちょっとこの362ページの、
2:14:32	話を聞いときましようかね。
2:14:35	これは
2:14:37	どういう考えでこれを選んでるんですか。
2:14:44	藤北海道電力の青木です。
2:14:47	362ページの考え方なんですが、
2:14:52	ここまでやってきた追加解析踏まえて最大ケースをまとめたページがこのページになると思っております。
2:14:58	これまでの審査で示してきた最大ケースというものが、ページで言いますと124ページですね。
2:15:08	ちょっとケースとか色分けしてないんでわかりづらいんですがここで書いてるケースを、評価項目と地形モデル分けて、それぞれ説明しこのケースはそれが最大ケースを説明してきました。
2:15:20	そこから変更した点というところで362ページの最大ケースになりまして、トーセ、谷さんが説明ありました通り、評価項目に応じて地形モデルをそれぞれ、
2:15:31	決めているというところになります。その考え方については、水乗車のメカニズムを踏まえた上で、具体的な検討②とかの分析を踏まえた上で最も厳しくなる地形モデルを選定しておりますので、
2:15:45	そういった意味でこの地形モデルの代表性があると考えております。以上です。
2:15:56	谷です。まず、その辺説明して欲しいんですけどこれって、議論までするつもりなんですが、これは
2:16:07	なんかもともと、
2:16:09	北海道電力って、基準津波いっぱい選ばなきゃいけないと各地形モデルに対して選ばなきゃいけないそれは、後段の設計、設計というか耐津波設計のことを考えるとそうしなければいけないんじゃないのかと。
2:16:23	考えているようなことを何か前聞いた気がするんですけど、すみません僕の勘違いだったら、すみませんそれは多分残ってないと思うんで、資料上はですね。
2:16:33	嘘。そうではなくって、後段の耐津波設計のことを考えても、こういった津波が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:41	最大のものとして、
2:16:44	選んでおけばいいっていう考えになってる。
2:16:48	んのか、そそういうところをちょっと確認したいんですけども。
2:16:56	北海道電力の青木です。こちら 362 ページで示した四つの波源っていうものが後段の耐津波設計方針で用いた場合においても厳しくなる波源だというふうに認識しております。以上です。
2:17:12	谷です。北海道電力はい。すいません。
2:17:16	奥寺です。以前は、
2:17:21	パラスターの結果で、全たもう嫌やった結果に基づいて、基準津波等を網羅的にやっていく必要があったと考えていたんですけども今回の
2:17:33	一連の分析とかが契機にはなりますけれども、地形との絡みとかいろいろなパラメータとの絡みで、こういう組み合わせが大きいんじゃないかっていうところが見えてきたというところもありますので、
2:17:47	今沖が説明したような考えでこう選ぶに、考え方が変わっていったっていうところがわかりづらいのかなと思います。
2:17:56	そういう、そういうふう、そういう考えで、検討の結果こういうところに至っております以上です。
2:18:04	井谷です。ちょっとそこはですね
2:18:09	一応多分考え方が変わってて、変わるだけの何か理由があって、変えたということなんですけど、結果、これがこれを選んでおけばいいんだよっていう部分をもう少しちゃんと説明をいただきたいなと。
2:18:25	いうのを思いますけど。
2:18:29	はい。
2:18:32	あとねついでに言うところの 360 わかりました。はい。366 ページが何なんだろうな。入れ替わりの分析しましたって言うんですけども、
2:18:44	ぜひ一番左と真ん中の、
2:18:48	表の関係はわかるんですけど、
2:18:51	一番右にこんなものいるんですかねっていう、
2:18:59	何、何なんだろうのこの、
2:19:03	一番右がさっきの、
2:19:07	3、防災企画に 362 ページの、
2:19:11	結果ですかね。
2:19:15	5.5. 66 の話。
2:19:18	いいですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:21	北海道電力青木です。一番最後の 5.5, 6 の最大ケースを一番右側に掲載してございます。以上です。
2:19:34	これ何でこれ並べなきゃいけないんだっけ、一番下があるから。
2:19:39	うん。
2:19:40	367 で入れ替わりが生じているからですか。
2:19:45	だったら何か、
2:19:47	そういう目で見てみます。
2:19:53	この、
2:19:55	この、すみません、367 ページの一番下は、
2:20:03	300、
2:20:08	どこどこにあるんでしたっけ 300。
2:20:17	ハウスイの上昇。そっか。いや、もうちょっと考えてみますはいは起こりました。
2:20:23	あとついでに言うとね検討⑤の C ケースって書いてあるけどこれ、何か 00102 とかいうのが、
2:20:31	何て言うのかな。
2:20:34	は波源ケースの 0102 とか言うのだけがあるのと検討⑤と書いて、これ、まるでケース⑤の項は清のようにこう見えてしまうんですけど何かいい名前。
2:20:45	ないのかなっていうのと、あとそのケース、362 のケース⑧どこだとかって、もうは、⑧っていう中に、北海道電力の説明だったらこれも、
2:20:57	地形、地形モデルって書いてるけど
2:21:03	層相損傷を考慮した地形モデル①っていう意味ももう入ってるわけですよ。
2:21:09	なんかね、ケース⑧っていうのは、波源の説明なのか地形モデルもセットの話なのか、これが何かね、わかりにくいんですよ。で、多分これ、
2:21:21	ちゃんと書くとしたら、ケース⑧っていうのの中に分かれていくんですよ地形モデルの話と、波源の話が、
2:21:30	で、
2:21:31	何かその辺を、
2:21:35	ばっかりよくしてもらえたらなと思いますので、
2:21:38	お願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:47	北海道での大城です。わかりやすくなるよう修正かけていきたいと思 います以上です。
2:22:08	規制庁佐口ですけど、
2:22:10	やっぱりさっきの
2:22:13	最終結果っていうのは、今回大きな変更点の一つでもあると思 いますので、
2:22:20	最初のところで、
2:22:22	今 10 何ページでしたっけ 12 ページかなんかで、
2:22:26	違ったかな。
2:22:31	違いますねもっと後か。
2:22:35	16 ページか 16 ページで、結果示されてるんですけど、
2:22:40	少なくとも、
2:22:42	これまでの、
2:22:44	お示ししていた。
2:22:47	だカラー
2:22:49	124 ページですよ。
2:22:51	これとは、例えば見開きにして、
2:22:55	これまで示していたのはこうでした。今回こういうふう に評価が変わりましたこれは変更点なので、そこはまずわかるように していただきたいんですけど。
2:23:06	そこって、よろしいです。
2:23:11	当北海道電力のアオキですとこれまで説明した内容と変更前後がわかる ような形で、資料化していきたいと考えております。以上です。
2:23:22	はい、佐口です。よろしく申し上げます。それで、
2:23:25	ちょっとやっぱりこれは、
2:23:27	うん。私もなかなかわかりづらいなと思ったのが、
2:23:31	17 ページ。
2:23:33	から、Dで 17 ページ 8 ページっていうのがまさにこれが、だから多 分、前は、
2:23:39	こうだったんだよというところが真ん中にあっただのかな。で、一番右 が、それが今回は、結果は、こういう形ですよという、
2:23:49	ただこれはあくまでも分析結果として示されているだけの話なんです けど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:55	17 ページの、これがよくわからないんですよ一番下さっきもちょっとありましたけど、
2:24:02	以前は、
2:24:04	11.82 メーターだったものが、今回 11.77 メーターに、
2:24:10	要は水位としては下がったわけなんですよ。
2:24:13	で、何が違うかっていうと、多分これって、
2:24:17	波源モデルっていうのかは現自体を同じなんですけど組み合わせの時間が、
2:24:22	微妙に 5 秒ずれたっていうだけ。
2:24:25	ちょっと水位が下がってますけど、
2:24:28	でもこれは何か、トータルとして考えたのかな。
2:24:32	トータルとして考えればもうこれでいいんですみたいな多分そういう、
2:24:36	御説明かなとさ、最後のその 360 何ページとかですよ。
2:24:42	そういうまず理解でよろしいんですか。
2:24:46	要はその
2:24:48	実は、
2:24:50	微妙ですけどね、微妙なんですけど、
2:24:53	水位としてはさらに大きなものがあるんですけど、あくまでもそこは最大なものを取るんじゃなくて、最大じゃないけれども、こちらをとりま すという、
2:25:04	そう、そういう。
2:25:06	理解でよろしいです。
2:25:10	あと北海道電力の青木ですと考え方については説明されて出されてまし た通り、363 ページの考え。
2:25:19	ていうところで、選定しないというところを考えております。と同じ認 識だと認識しております。以上です。
2:25:28	はい。サグチスわかりました。
2:25:32	ちょっとこれ 1 個教えていただきたいのは当然いろいろ、今回その追加 とかで分析をやって、先ほども少しお話をさせていただいて、それから 確認をさせていただいたように、
2:25:44	東の方から西の方とか、そういうふうなずらし方をされて、
2:25:50	いる中で、
2:25:52	これってその表示だけなのか、本当の実際の組み合わせはどうなんだと いうところで確認をさせていただきたいのは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:26:00	何かすぐ出てくるかな。
2:26:02	どれでもいいんですけどさ、さっきそのいっぱい並べた。
2:26:07	図が、
2:26:09	あったと思うんですけど 143 ページ以降ですね。
2:26:13	こういういろいろ検討をされていく。
2:26:17	中で、
2:26:19	いや、
2:26:20	何が気になったかというと、
2:26:24	結局その波源の位置を変えるとすることは、
2:26:28	何ていうんすかね波源モデルの大きさ。
2:26:31	は当然変わらないので、いわゆるその地震規模、
2:26:36	ていうのは変わらないんですけど、波源の位置を変えると、今度地すべりとの位置の関係が変わってきて、そうすると、
2:26:45	実は組み合わせの、
2:26:47	タイミングですよ、いわゆる滑り。
2:26:50	始める時間、
2:26:52	ていうのは、
2:26:54	微妙なのかもしれないんですけど、変わるんじゃないかなと思う。
2:26:59	なんですけど、今何か、
2:27:01	は形は、
2:27:03	全部一緒に並べて、で、
2:27:06	いわゆるその重なり合うような時間体はここからここですみたいなのが、
2:27:11	何か一括で示されてるんですけどこれは、
2:27:14	そういった、
2:27:16	波源の位置の違いなんかも、
2:27:19	含めて、
2:27:21	一番早いものから、一番遅いまでのものまでを含めた形で示されているのか。
2:27:29	そうじゃなくって、もうそこは、
2:27:32	全部一緒だという仮定をされて、
2:27:35	書かれているのか。
2:27:37	それが、こっちの書いている方だけはそうなんだけれども実際の組み合わせの計算というのをちゃんとそういった、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:27:46	リーチが変わることによってその滑り始める時間も、
2:27:51	変わる。
2:27:52	ていうことをちゃんと考慮された上で組み合わせを一括計算としてやってられているのかって、ちょっとそこを教えてください。
2:28:01	北海道電力の青木です。一方、例を挙げて説明しますと 276 ページ、お願いします。
2:28:12	こちらにおいては、ピンクの破線の範囲っていうところ、今現状どのように書いてるかっていうところ事実としては、20 秒から 140 秒。
2:28:23	の範囲で、ちょっと波源を移動させるとこのピンクの破線の範囲が、それぞれのケースで移動させるんですがここは代表的なケースというところこの 20 秒から、
2:28:34	140 秒っていうところで、概ねのところ記載しているというところが事実です。
2:28:40	2 本目ページめくっていただいて 278 ページ。
2:28:45	こちら実際に解析する時には組み合わせの時間範囲というところを精査しまして、例えば表中の左のところに、組み合わせの時間範囲というもので、
2:28:55	29 秒から 149 秒とか 30 秒から 152 秒とかっていうところがありますので、その組み合わせのドイツはババの解析の条件においてちょっとここを精査して確認しているというところになります。
2:29:09	あと説明としては、実際
2:29:13	解析した結果として重なってるってところを、
2:29:17	280 ページ以降とかのは形で確認してますので、
2:29:22	280 ページのところちょっと範囲の記載が、ここは適切ではないんですが、
2:29:29	実際の組み合わせの
2:29:31	方で重なってるってところを確認しております。説明としては以上です。
2:29:37	規制庁佐口ですわかりましたなので計算自体はちゃんと、そのの、
2:29:42	ずれの秒数っていうのはちゃんと考慮されていると。ただその表示されるその 276 ページみたいなところは、代表って書かれ、
2:29:52	で、
2:29:53	今おっしゃったんですけど、
2:29:57	細かいこと言うと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:29:59	背正確ではないというのがあくまでもこれ代表なので、
2:30:04	そのケースによっては、実はこれがもうもうちょっとこう左右、振れると、そう、そういう。
2:30:11	理解でよろしいんですね
2:30:16	北海道電力の青木です。そういったご認識で間違いありません。以上です。
2:30:48	谷ですけど、さっきの
2:30:52	確かにこの絵と、
2:30:56	組み合わせの時間範囲っていうのが若干検討によっても違うよっていう。
2:31:00	事に関して今野だから、比較したりするところではそれで問題ないんですっていうのがあるのであれば、
2:31:13	説明し、説明も要るしそれ問題ないのかっていうのを確認は、これからされるんだと思いますけど、或いは申してるのかもしれないですけど、
2:31:23	何か説明は要るんじゃないのかなと思いますのでお願いします。
2:31:32	北海道電力奥寺です。適切な記載を検討いたします。
2:31:51	規制庁のキシノです。
2:31:53	友利の基準津波の申請のこの度配りましたのでよろしくお願いします。
2:31:58	ちょっと2点ばかり確認させてください。鳥栖まず資料37ページをお願いしたいんですけど、
2:32:06	ここで検討フローというものが載っております。これ5章の一番最初に来ているということで5章全体の流れを示している説明かと思うんですが、
2:32:18	今回加わったご都合とか5×6っていうのはこの中に説明がないと思います。まず、
2:32:26	このページだけじゃなくて他の帝人のご都合とか5ポツ6が、ご卒業以前とどういう繋がりできていて、またどういう位置付けになってるかの説明ってのはこの資料の中のどっかにあるかどうかをまず確認させていただけますか。
2:32:51	北海道電力の青木ですと37ページについては5章に関する方針の説明っていうところの位置付けにかかわらず、この追加した5.5章の説明がないので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:03	その説明に関わるフローは資料上、掲載しているかっていうところの確認だと思ってますとその問いに関しては現状資料化してないというところが回答になります以上です。
2:33:17	町長の岸野です。
2:33:18	5月号、5と6は今回の資料で新たに加わっているわけなんですけど、前回の10月の会合からですね、この
2:33:26	後ちょっと向後活力の、それ以外の項目との繋がりとか、この庄野への位置付けってのはどのように考えているのか、事業者の考えを説明いただけますか。
2:33:40	北海道電力の奥寺です。このあたりは冒頭で、ちょっとありがた迷惑みたいになってしまったかもしれないんですけども、どういう検討をやってるかっていうような、
2:33:51	おさらいとか、そういった意味合いを持っているところですので、例えば、補足資料にするとか
2:34:01	その繋がりをもうちょっとわかりやすくするとか検討するというところで先ほど聞き取った通りでございます。
2:34:09	そういった位置付けで今回つけさせていただいているものです。以上です。
2:34:15	規制庁の岸野です。
2:34:18	先ほどご都合の内容についてですね位置付けとかですね検討の考え方についての説明を加えるようにやりとりがあったかと思いますが、
2:34:28	このページについても同じかと思えます。今のご説明は、これまでの繋がりとの説明で載せたら、便宜的に載せただけというような説明のように聞こえたんですけど最終的にはですね、
2:34:38	5つ、5章の全体の流れを説明する、フローとしては多分このページが生きてくる最終的にしようっていうのは別なんですけど、
2:34:48	生きてくるかと思えますので、そういう位置付けかとする、5.55. 6っていうのが
2:34:55	この5章の中のどういう位置付けになるのかっていうのを説明があった方が良いでしょう、いかかでしょうか。
2:35:05	北海道電力の青木です今回5章としてパッケージして説明するということになりますのでこの方針についても、適正化図りたいと思います以上です。
2:35:17	町長の岸野です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:18	はい。お願いします。
2:35:20	おそらく 5.4 までが 9 月の審査会合で説明があって、藤羽賀の入れ替わりとかについての指摘を受けて今回 5.5 とか 5.6 っていうのが加わってきたと思いますのでそういった繋がりを意識してですね、
2:35:32	その位置付けを説明いただければというふうに思います。
2:35:36	あとですねこの 5 社全体としての結論は先ほど来その内容の事実確認ありました。
2:35:42	ごつごつ。
2:35:44	6 ですかね。ページ 10 と 360。
2:35:48	2 とかその辺り、
2:35:50	かと思うんですが、まずその理解でよろしいかという確認をさせてください。
2:36:02	北海道電力の青木です。郷。
2:36:05	衛藤。
2:36:06	5.5 章に関わる結論のページっていうところが、5.5. 6 章の 361 ページ、362 ページに該当すると考えております。以上です。
2:36:19	そうしますと 5 章の結論というのは、5.4 になるということでもいいんですか。
2:36:43	北海道電力の青木です。流れとしましては目次見ていただくと、5.1 章から 5.4 章にかけてが、組み合わせの最大ケースでこれまで説明してきた内容になると考えてます。
2:36:56	そのうち 5.5 章で今回分析追加しまして、その分析に追加した結果のまとめに該当するところが 5.5. 6 所というところに該当すると思ってます。
2:37:08	こちらで回答になってますでしょうか以上です。
2:37:12	規制庁の北です。つまり 5 章の結論というのはどこになるんですかっていうのは、教えていただきたいんですけど。
2:37:31	北海道電力の青木です。5 章としてのまとめのページが、今資料化されてないので、その点について、わかりやすさの観点から作成したいと考えております。以上です。
2:37:45	規制庁の岸田です先ほどまでのやりとりとおそらく共通するところはあると思いますけど 5 章という保障の目的が、地震による津波と地震以外による津波の組み合わせという章立てですので当然ながらその結論はどこなのかっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:59	マクロ上からも、資料上からも明確に説明があった方が良いかなと思いますのでその点、
2:38:08	記載をご検討いただければと思います。
2:38:17	よろしければ続けます。続いてですねちょっと提示とりますが、360。
2:38:24	6 ページですね、これ前の方にも同じページがあって先ほど少しやりとりがありましたけれども、
2:38:32	ちょっとこれは些末な確認になるかもしれませんが、366 ページで一番左側の表から真ん中の表に、波源が入れ替わったものについては黄色矢印で強調がされていて、
2:38:46	これを見ますと、緑色の6-D南20から7のDEに変わったものは元の入れ替わりというふうに強調されているようです。
2:38:58	367 ページ一番下の宮地の表はちょっとそうでなくて6-D-20、20に変わったものも、そのようにされていますけれども、
2:39:06	366 ページの、
2:39:09	上の膨張で前面かっこ上昇側で、波源の入れ替わりとついているものが一つだけで、
2:39:17	一番下ですね、一番左側表の一番下のケース⑭が真ん中の表の一番下のケース⑮に変わったものについて特に入れ替わりという説明にはなっていないんですけど、
2:39:30	10月ですね審査会合のときの説明で、中間報告という位置付けで資料の27ページだったと思いますが、
2:39:39	はぐの入れ替わりが発生したものを一覧表の中で赤文字で強調しているページがあって、
2:39:47	それでいく当庫の先ほど言いました366 ページですね、ケース⑭が⑮に変わったところも、春の入れ替わりが発生したケースという形で、志垣でちょっと強調されている整理がなされていたんですけども、
2:40:02	今回、これについては特に入れ替わりという形で整理をされていないというのは、
2:40:08	どういう考え方なのかなど。冒頭いろいろと説明があって検討の結果のはけ口が変わることが一番重要だからというような説明があったのでそういう観点からは口は変わらなかったものについてはこの資料では波源の入れ替わりとしてみなさなかったということなのかもしれないんですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:24	これはあくまで私の推測ですので、事業者の考えがあったら教えていただけますか。
2:40:30	北海道電力の奥寺です。
2:40:34	細かい点を言いますと先ほどおっしゃった形、資料とか我々提示しているところあるんですけども、その間の事実確認等も、この経緯も、
2:40:46	ありますけれども、細かいパラメータ変わってる部分があるけども大きい意味で、似たようなパラメーターってところは大きかな、
2:40:56	意味で同じような波源ではないかとか、そういったような議論といたしますか、事実確認等の経緯があるので、今回、
2:41:06	冒頭では元の分類を行ってまますけれども、大きな意味での色分けをしていると、そういう意味では、大きい意味では元としての特徴が変わっているかいないかということで、
2:41:20	今回 366 ページの黄色い線、
2:41:24	ウーの大きい意味で変わってるか変わってないかという分類に基づいた変わった変わってないっていうのを示している次第です以上です。
2:41:34	規制庁の岸野ですお考えはわかりました。
2:41:37	そうすると 10 月の資料の中で説明があったものとは萩野入れ替わりというものについての考え方を少し変えてきたということかと思えます。一応、もう 1 点確認なんですけど、
2:41:49	10 月にでも、説明で、
2:41:52	それとは元の入れ替わりと今回、ちょっと波源の入れ替えを、の扱いを変えたということによって、10 月までの説明内容が何か変わったり、影響を受けたりとかいうことはないっていうことは確認済みということでよろしいですか。
2:42:16	北海道電力の青木です。10 月 28 日に一度会合させていただいておりますが、その中では波源の入れ替わりについて江藤、こちらの方から説明。
2:42:28	歴史きれてなかったというふうに認識しております。今回の資料については、改めて先ほど奥寺からご説明ありましたが、波源の大きかな傾向に基づいて波源の入れ替わりについて整理したというところを、
2:42:43	説明となります。以上です。
2:42:48	出力中ですはい、わかりました。特にこれまでの説明に影響する見直しではないというふうに理解いたしましたけれども、10 月の会合資料から

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ですね今回ちょっと扱いを変えてきたことについては資料上の不整合ということになりますので、
2:43:02	どういう考え方に変えたのかという説明を加えておいた方がよろしいかと思いますがいかがでしょうか。
2:43:15	北海道電力の奥寺でございます。
2:43:19	我々の考えは今ほど私青木から答えた通りですけれどもその辺りの内容の、
2:43:27	書き方等について記載ぶりについて検討いたします。以上です。
2:43:34	規制庁平です。はい。ご検討お願いします。私からは以上です。
2:43:50	すいません規制庁スズキでちょっと後ろがないので、ちょっと国語の問題で教えてもらいたいんですけど、328の検討7ですね⑦。
2:44:03	ここ米印1でな、これ何度も出てくるんですけど、何か同じ定義を、3号の天端高さを下回る範囲のオレンジと紫の下降側となる範囲使っていて、
2:44:16	これ後でもずっと同じような形で使われてるんですけど、ちょっとこの※1のこま可愛。
2:44:23	意味をですね、正確に書いてあるか教えてもらいたいんですけど。
2:44:27	※1の3号取水口括弧加古川括弧閉じ。
2:44:33	が最大となる、下降側がされてないところ、水位がさ、下降水位が最大となるっていう意味でよろしいですか。これ多分見え、B及びCっていう形で、
2:44:44	3号取水口下降側で貯留堰を追ってカギカッコ及びパルスを考慮しない時間って、
2:44:51	後は時間が最大となるで日本語繋がるんですけど、最初の方は、取水口が最大となるってのはこれ、須賀港側の水位が最大となるっていう、
2:45:01	水位が最大っていう意味であってます。
2:45:07	ハウスイ、北海道電力の青木です。糖水の下降側の水位変動量が最大になるという意味でも同じ認識だと思っております。以上です。
2:45:17	はい。一応これはB及びCっていう公文でいいですね。はい。
2:45:22	何でもどこ下部右側の検討ケース1水位下降側っていうものを見て、どこかで3号取水口下降側、
2:45:33	が最大となる、今度は形なんですけど、
2:45:36	葉系というのはどこからどこまでを1個の葉系って言ってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:43	これぞ。なのでこれ0からプラマイ0からプラマイゼロまでを1個は形っていう意味合いでやってます。
2:45:57	北海道電力の青木です。下降側の水位変動量に対しては、0黒須D下回るところっていうような定義になるかと思ってます。一方、貯留堰を下回る継続時間とかであったりは、
2:46:11	そのは形を見てみて、その時間とってるところの波が該当しますので、ちょっと意味合いとしては、加古川の変動量と時間っていうところで、
2:46:23	算の定義が変わってくるかと思っております以上です。すいませんこれなんで、オレンジと言っているのかをと言っているのか、この色で、
2:46:33	青の方は、下降側となる範囲のは形なので、0黒須で、
2:46:40	3号ちょ貯留堰天端高さを下回るが枕崎に入ってる方が、これは-4から-4まで。
2:46:52	そのは形っていう形になるんですかね。
2:46:58	当北海道電力はOKです。江藤。概ねそういった認識かと思っております。ただちょっと複雑な点としましては、ちょっと凡例のところケース複数書いておまして、
2:47:09	この複数のケースに対して、
2:47:12	貯留堰の天端高さ下回る範囲っていうふうに定義しております。以上です。
2:47:19	はい。なので、右端と左端が、場合によっては
2:47:25	3パターンのうち、一番左端に来るもの右端に来るものなんでちょっと範囲が広がるわけですね。
2:47:31	あとその括弧内の、
2:47:33	パルスになる可能性。
2:47:35	ていうのは、この主語は何ですか。
2:48:00	少々お待ちください。
2:48:15	藤北海道電力の青木です。集合についてはこれも主語複数かかると思ってます。地震に伴う津波で定義しております加古川となる範囲っていう、
2:48:27	青色で示してる範囲についても、パルスになる可能性を踏まえて上昇側の葉系も含めるというふうに考えております。またごめんなさい。なんでこれパルスっておっしゃってるのはこれ下向き。
2:48:39	一つの話ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:48:42	水位回復するものが、ということではないわけですね。この後で何か後もパルスを検討する考慮しないとかって、
2:48:51	いうものって多分、上とIIの、
2:48:54	短時間のウエト図だと思うんですけど、ここはじゃあ違うんですかね。
2:48:58	ここで言ってるパルスになる可能性って言ってるのは、これは下嫁がパルスになってしまう可能性があるんで、
2:49:05	ということなんですか、ちょっとそこは後出てくるものと意味が一緒なのか同じなのかなと思って見てただけなんですけど。
2:49:13	北海道電力のアオキでちょっと言葉足らずかもしれないです。パルスについては、上に凸のは形で共通してパルスというふうに説明になると思ってます。
2:49:24	その説明で上とIIのものについても、組み合わせるとパーツになる可能性があったりするんで、それも含めて整理しているというような説明です。
2:49:34	以上です。
2:49:39	間パルス＝凸パルス P a y 凸になる可能性があるんで、
2:49:45	当該範囲における上昇側の葉系、これ上昇側の葉系も含めると1点は多分これば。
2:49:54	パルスを見落とさないようにって意味ですね。わかりました。すみません。
2:50:00	合わせた単純に、読み方と右側の図とどう読み解けばいいのかっていうだけだったので、この検討目的と検討内容と、何が確認できればOKってところの関係は不明っていうのはこれまで、
2:50:15	他の者から申し上げた通りなんですけど、
2:50:18	あとですね、
2:50:20	これも数年前に説明済みということで何も書いてないのかもしれないんですけど、例えば355ページで、これはパルスとなるパルスとならないって書いてあって、
2:50:30	マルバツが、
2:50:32	左二つがバツで、右二つが0ってなってますけど、
2:50:37	これはちょっと何か資料でパルスっていうので、検索かけてみてもですね。
2:50:44	何かこうパルスとなるかならないかって、この所、本日の資料上の中では、何か定義ってされてましたっけ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:50:54	多分数年前に 30 秒ですと書いてあるので覚えてますでしょうかっていうちょっと記憶クイズをされてるのかなと思って見てたんですけど。
2:51:05	北海道電力の青木です。さっきの議論でもありました解析条件等はこの資料で読み取れないところあるというふうにありましたのでちょっと補足資料の中でこのパルスの定義とかであったり、
2:51:18	先に議論のあったところ、解析条件に関わるところと資料としてわかるように整理したいと思っております。以上です。
2:51:26	はい。今多分ここだと 355 だと、単純にその子秒なんですよ。
2:51:33	特に
2:51:35	テンパ高さ -4 のところに左側二つって微妙に、
2:51:41	上に凸になって一旦マイナス。
2:51:45	4 メートル下回って直後に、わずかながらもう 1 回マイナス 4 メートルに引っかかってますけど、そういうのってあまり関係なくて、形というよりもこの時間が 30 秒切ってるか聞いてないかだけなんですよ。
2:52:00	北海道電力の青木です。パルスの判定については、TP-3 メーターのところを閾値にすべて判断しております、ちょっと貯留堰の天端 No-4 にかかるかかかないとかは関係のない話と考えております以上です。
2:52:14	はい、わかりました。わかりましたわかりました。
2:52:19	スターさんここは 3 メートルで切ってるわけですよ。はい。
2:52:23	飛んで 357 ページの方もこれ費。
2:52:28	100、バツテン 122 って左側二重マル。
2:52:33	となっていて、
2:52:37	或いは 3 メートルマイナス 3 メートルとおっしゃいましたっけ。
2:52:41	これ 357 ページの左側のところはなくここは二重マルがしてあって、
2:52:46	パルスとなる。
2:52:48	一時的に上回るハケがパルスとなると言っていて、
2:52:52	こっちはマイナス 4 メートルを閾値にして、
2:52:56	やっぱりさっきもマイナス 4 メートルだった気がしますけどね。
2:53:00	どっちなんですかねえ。
2:53:02	今、すいません閾値マイナス 3 メートル上回るかどうかどういった時間ですとおっしゃってもいるし、
2:53:10	今の 357 ページを見ると、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:14	これ3-3メートルの閾値は上回ってないですよ。だけどパルスと認定されてるようなんですけど、
2:53:23	このマイナス4メートルを上回るとパルスで上回っパルスとして上回った時間は、
2:53:30	マイナス3メートルを上回った時間をはかってそれが30秒か否かで判断してんですか。
2:53:36	ちょっとそういうところもよくわからないんですけど。
2:53:43	補足説明資料とかこの資料に書いてあるんであればちょっとさあ、そういうのを整理して、
2:53:48	確かにパルスですねパルスではありませんねっていうのが資料を見た人にわかるようにしていただければなという趣旨です。
2:53:55	はい。特に別にこの検討なの目的なり検討8の、
2:54:01	目的が満たされるかどうかってところはちょっと別ですけど、ちょっと資料のつくりとして、わかりやすくしてくださいというところで申し上げました。
2:54:15	北海道電力奥寺です。パルスの定義が今参照できないところで、わかりづらいということですので先ほど青木からも申しましたけれども、補足資料なりで必要な、
2:54:26	条件とか定義とかわかるように、整理していきたいと思います以上です。
2:54:34	タニですけど、さっき鈴木さんさらっと言いましたけど
2:54:38	結局この、
2:54:39	360ページとかのこのまとめで、以下を確認したことが、
2:54:46	この検討の中ではこういうことを確認しました検討8でこういうことを確認したんだから、
2:54:52	だからどうなんですかっていうのがですね、そのだから、
2:54:57	目的とまとめと、そこから行を、
2:55:01	北海道電力の主張されたことだから他の波源も検討する必要はないんで言いたいのか、なのかちゃんとわかるように、
2:55:11	してくださいねそれ多分そそう多分というかそれが前回会合での論理構成がわかるようになっていうようなことに、まず、
2:55:20	嘘そういう指摘はこうこうというのがちゃんとこうだからだから、これでいいんだとかいう話がわかるようにしてくださいっていうことも言ってますのでお願いしますね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:43	北海道電力奥寺です。我々の考え方がわかるように、記載の修正について検討いたします。
2:56:07	規制庁谷ですけど、事実確認も大分時間押してきたので終わりにしたいと思うんですけど、結構だから何か追加の資料をどうこう言うつもりはないんで、追加検討なんかを求めているつもりないんですけども今考えてることを、
2:56:24	ちゃんと資料化して、どん。
2:56:28	検討検討結果を、
2:56:31	言いたいことをちゃんと
2:56:34	わかるような資料にして欲しいということなんですけど。
2:56:36	これ、
2:56:37	どうですかねどれぐらい資料の修正かかって、
2:56:42	いつぐらいに、
2:56:44	次のヒアリングをしたらよさそうですか。
2:56:54	北海道電力、奥寺でございます。追加検討等ないのですけども、わかりやすさの観点で、
2:57:04	M a a S さらにきちんと考えたいと考えております。
2:57:09	ということで、今ちょっと即答できないので、どの程度を社内レビューとかかるか見積もりまして、後日、シェア落として回答したいと思います。
2:57:22	以上です。
2:57:23	はいお願いします。御社の場合なんかクリティカルパスでこう考えているようなところもあると思ってて、やっぱりそれに載せるにはどうどうしたらどう。
2:57:33	そのタイミングでやらなきゃいけないとか、
2:57:37	ご希望は反応して、言っていたらと思いますので、
2:57:42	お願いしますでどれぐらいにできるかっていうのがわかったらですね我々もそこ意識して、やろうと思ってるのでお願いしますね。早めにお伝え、伝えてください。
2:57:58	僕は北海道電力から何か確認しとくこととかありますか。
2:58:10	ありません。
2:58:13	井谷です特にないようでしたらヒアリングを、以上にしたいと思いますどうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。